

# 東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

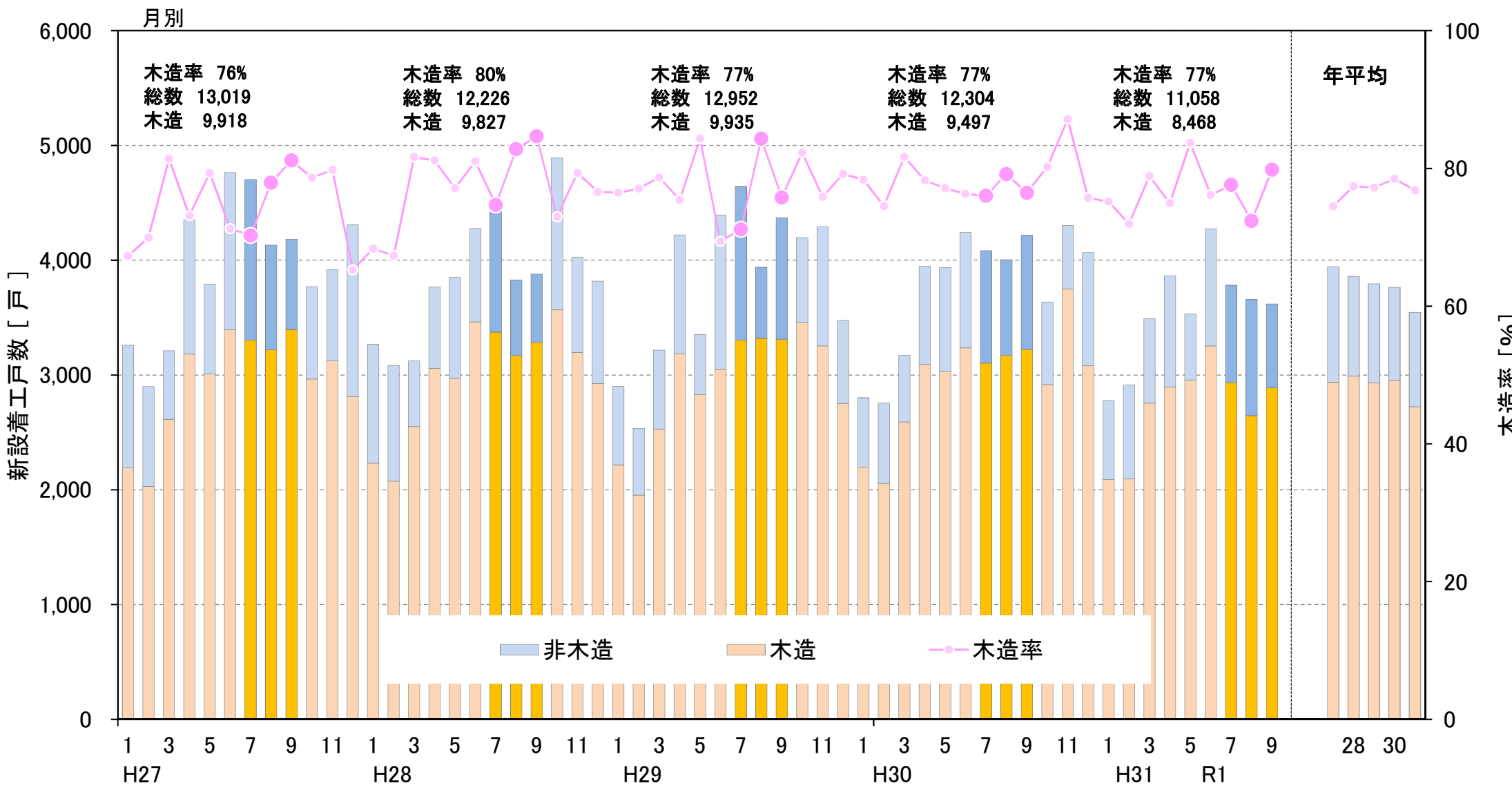
令和元年12月5日(木)

東北森林管理局



# ■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年9月)

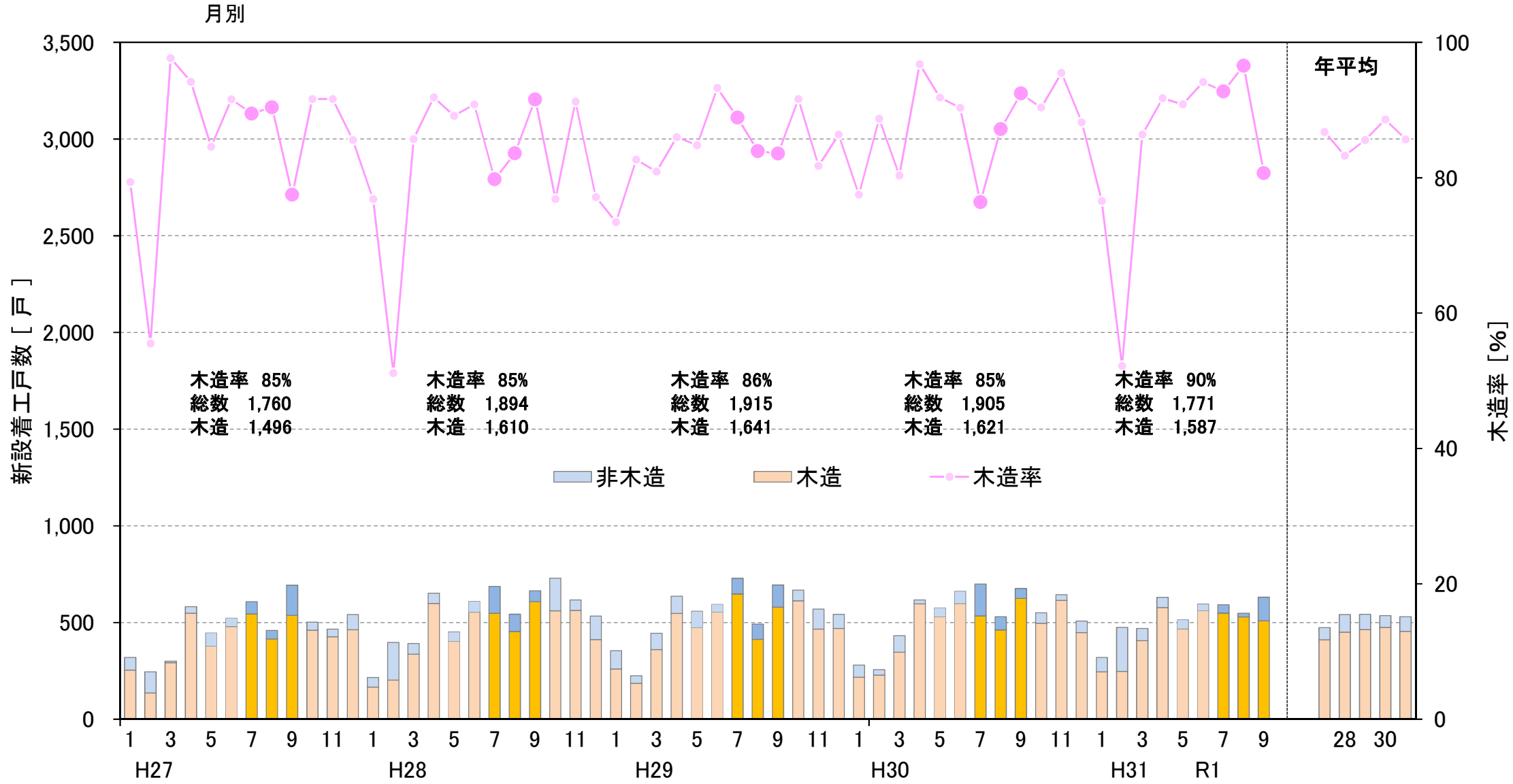
○ 東北5県の令和元年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より1,246戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より1,029戸減少し、木造率に変化はなかった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年9月)

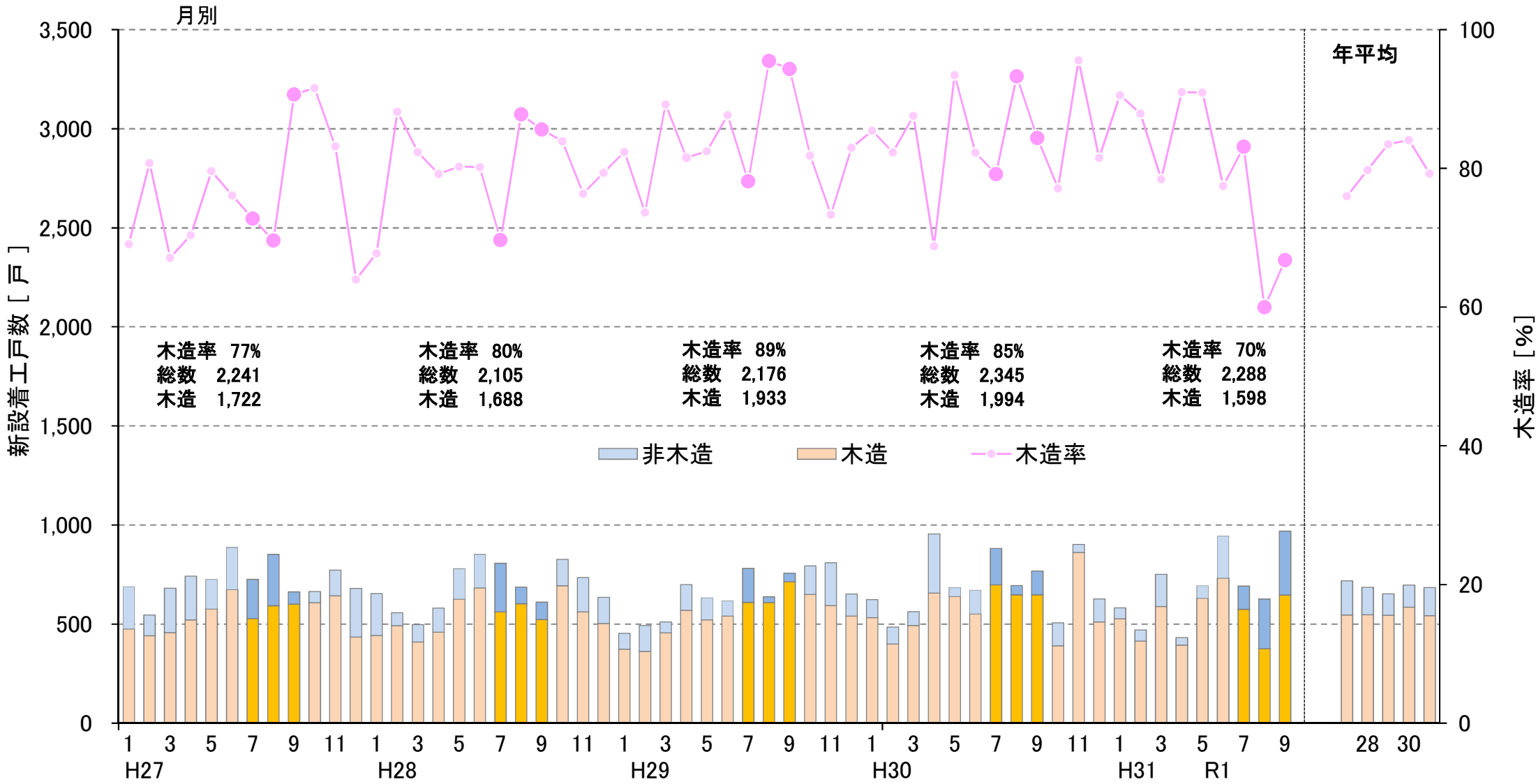
○ 青森県の令和元年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より134戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より34戸減少し、木造率は5%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年9月)

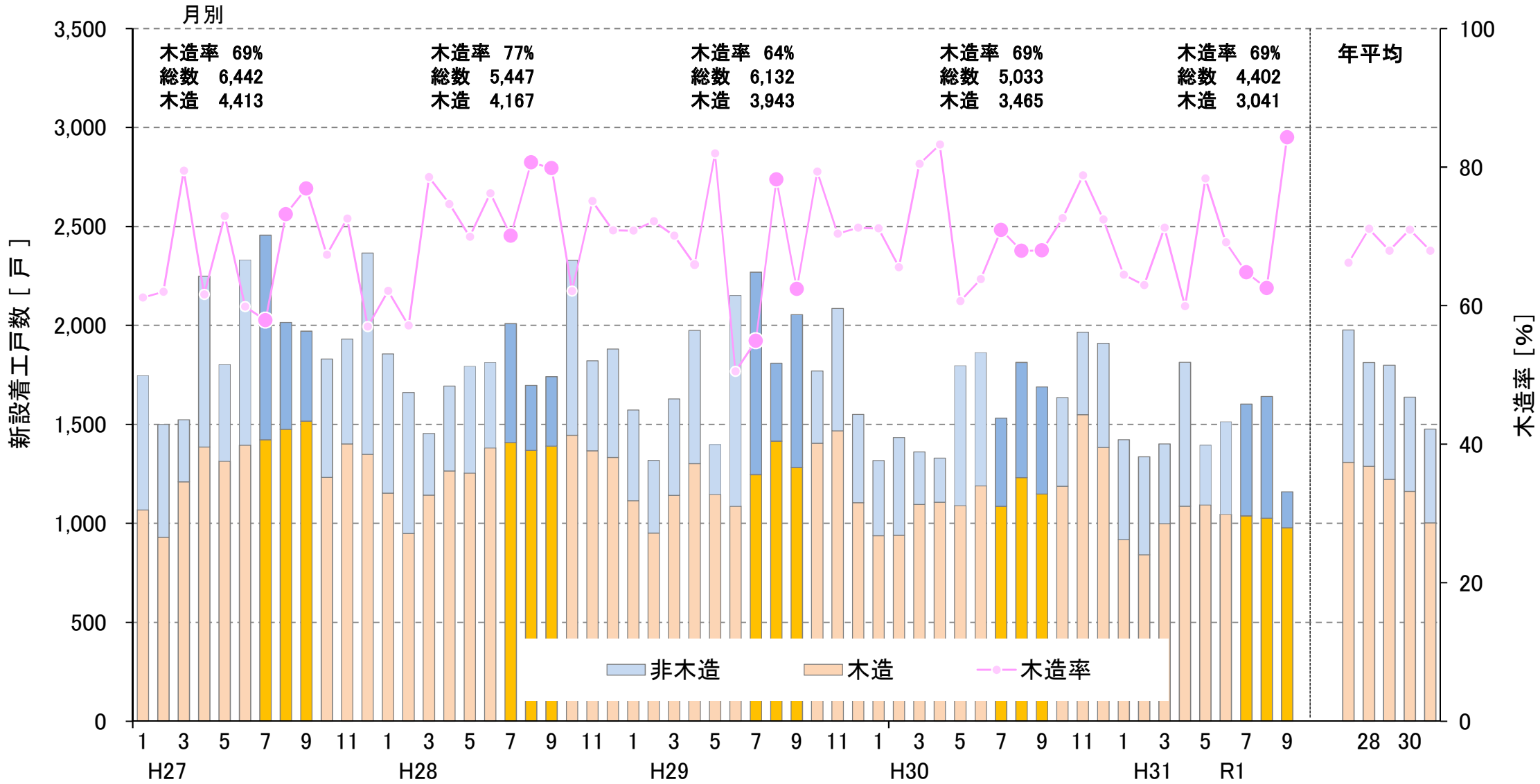
○ 岩手県の令和元年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より57戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より396戸減少し、木造率は15%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年9月)

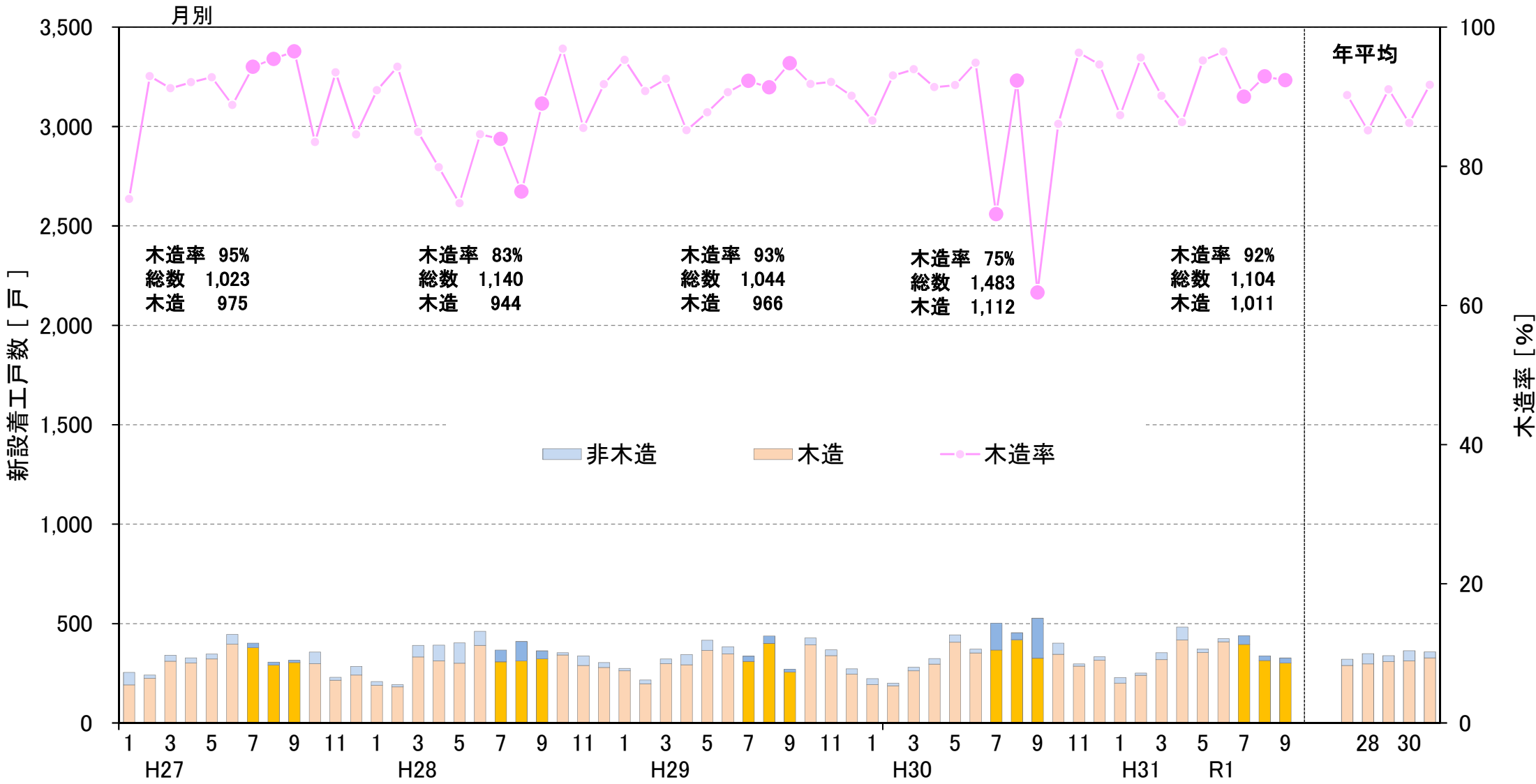
○ 宮城県の令和元年7～9月期の新設住宅着工数は、去年同期より631戸減少した。  
 この期間の木造は去年同期より424戸減少し、木造率に変化はなかった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年9月)

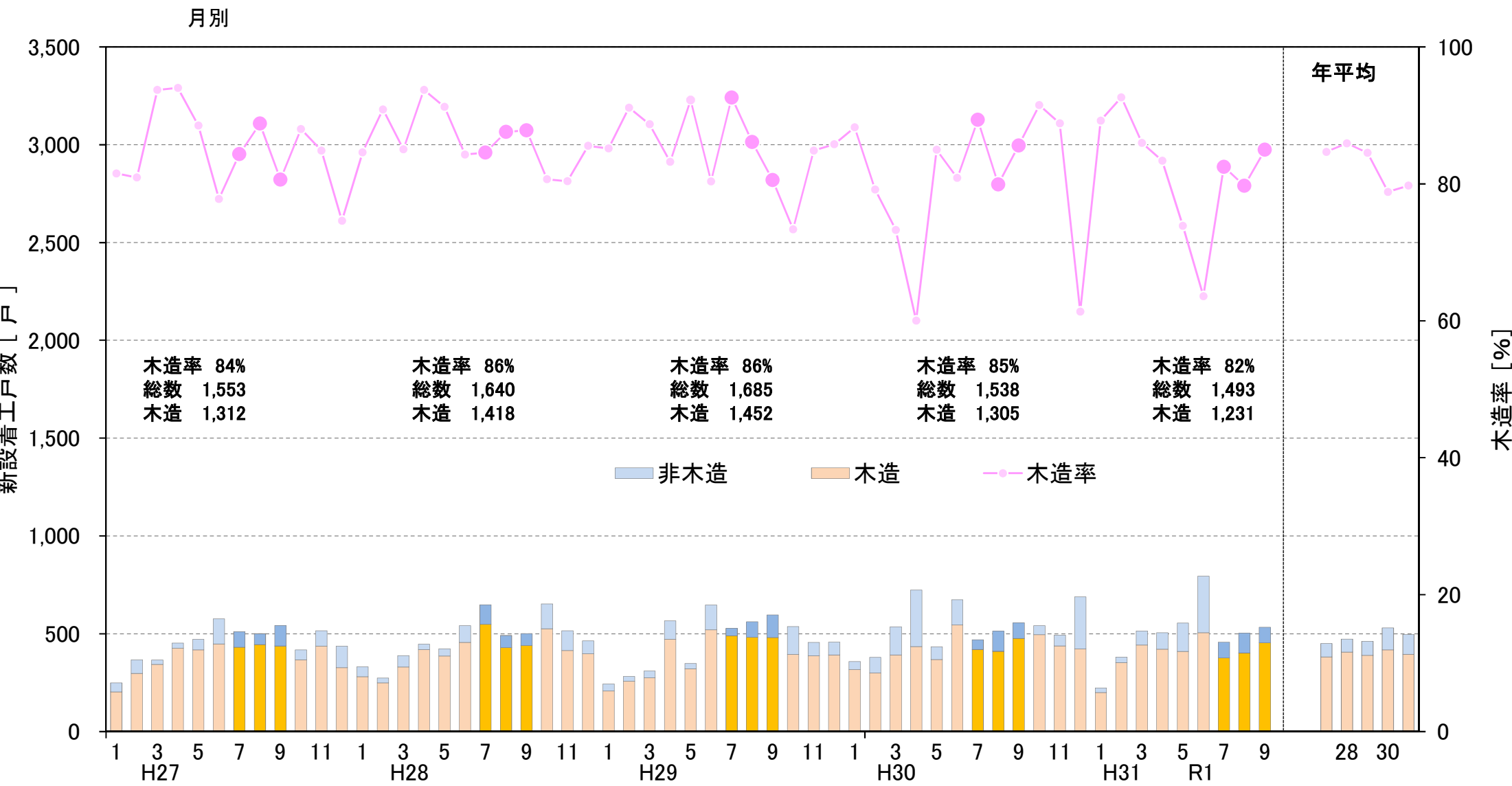
○ 秋田県の令和元年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より379戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より101戸減少し、木造率は17%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 山形県の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年9月)

○ 山形県の令和元年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より45戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より74戸減少し、木造率は3%減少した。

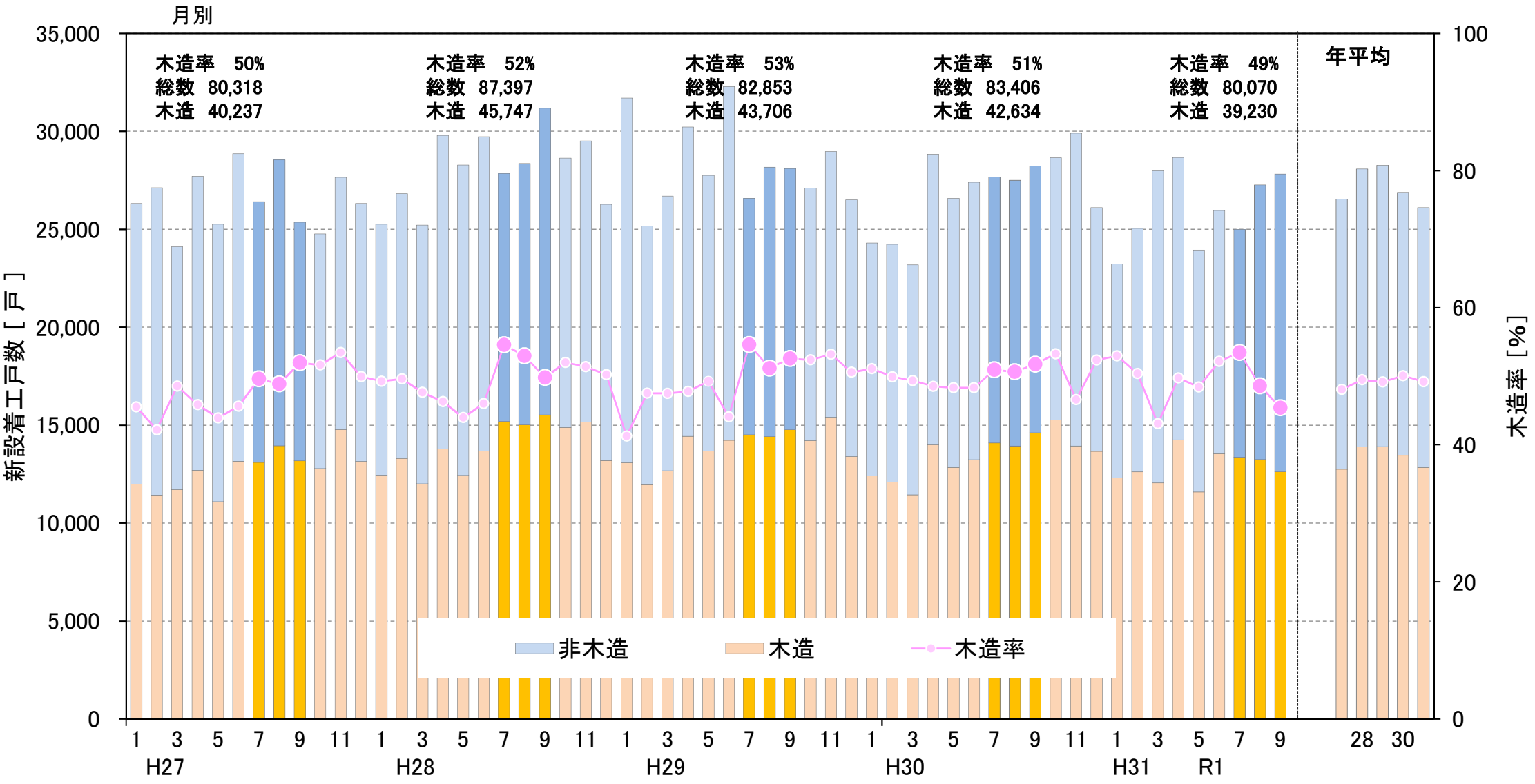


出典：国土交通省「住宅着工統計」



# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移(平成27年1月～令和元年9月)

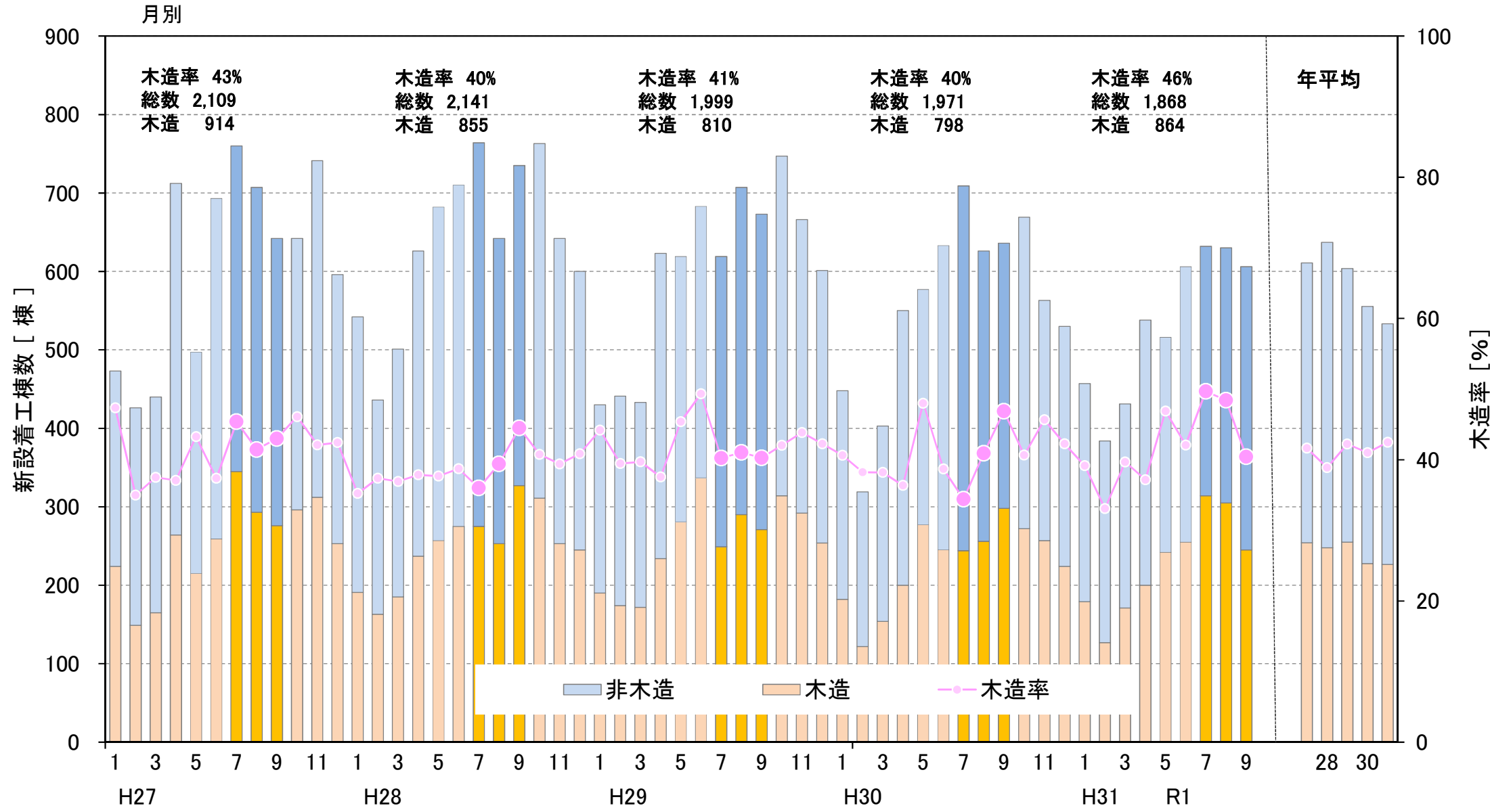
○ 関東主要都市の令和元年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より3,336戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より3,404戸減少し、木造率は2%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年9月)

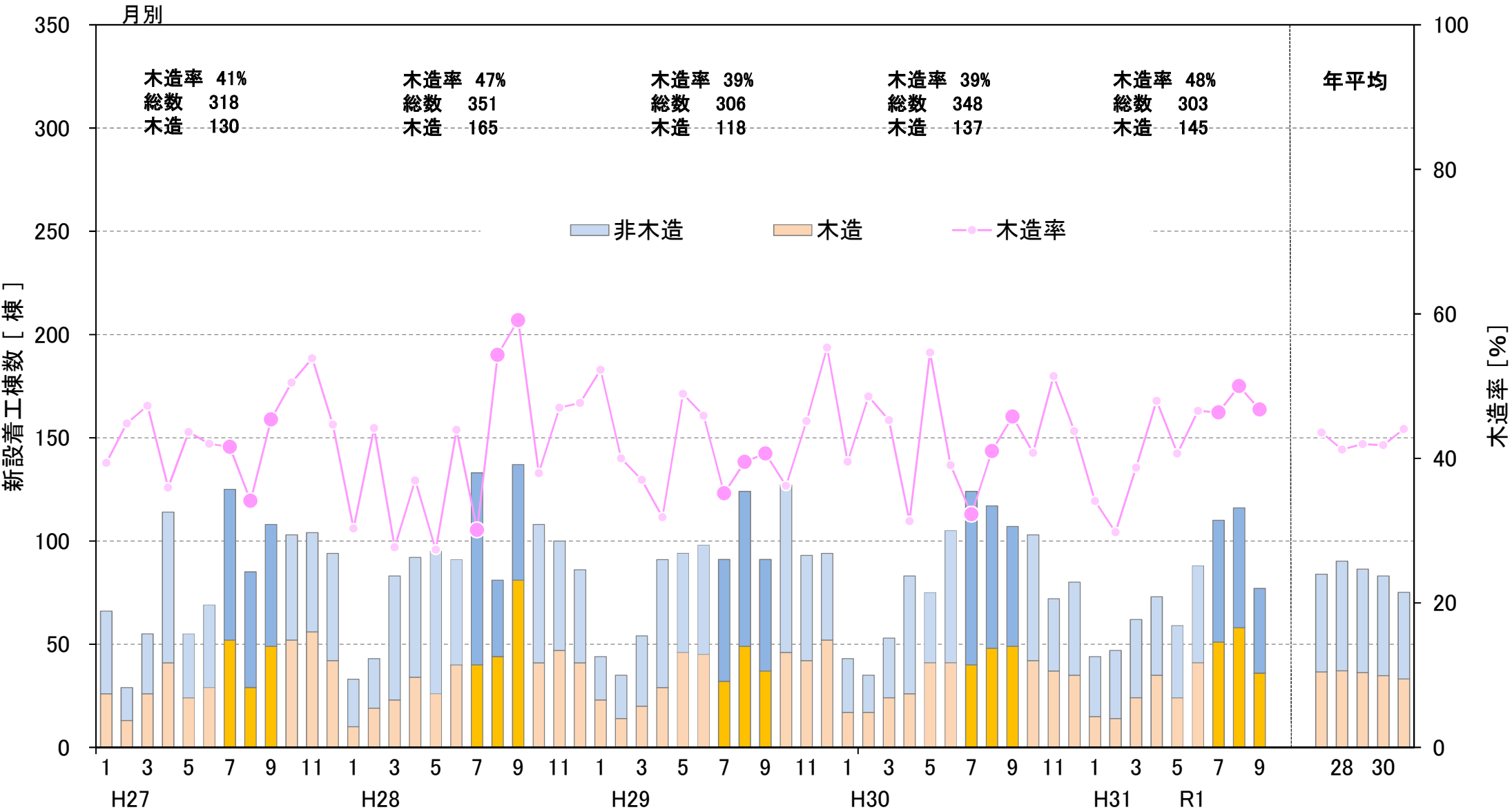
○ 東北5県の令和元年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より103棟減少した。この期間の木造は昨年同期より66棟増加し、木造率は6%増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# 青森県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年9月)

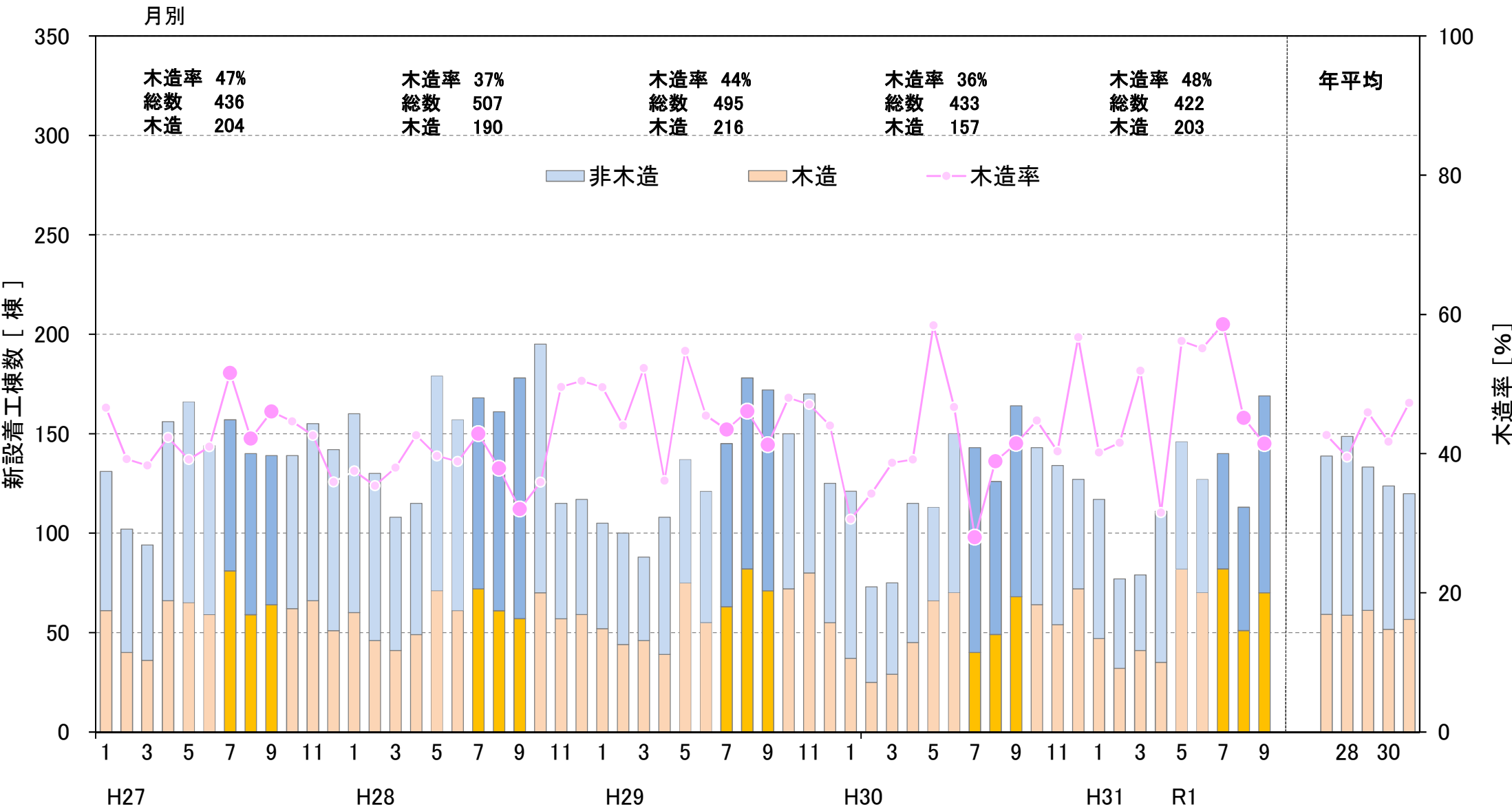
○ 青森県の令和元年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より45棟減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より8棟増加し、木造率は9%増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# ■ 岩手県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年9月)

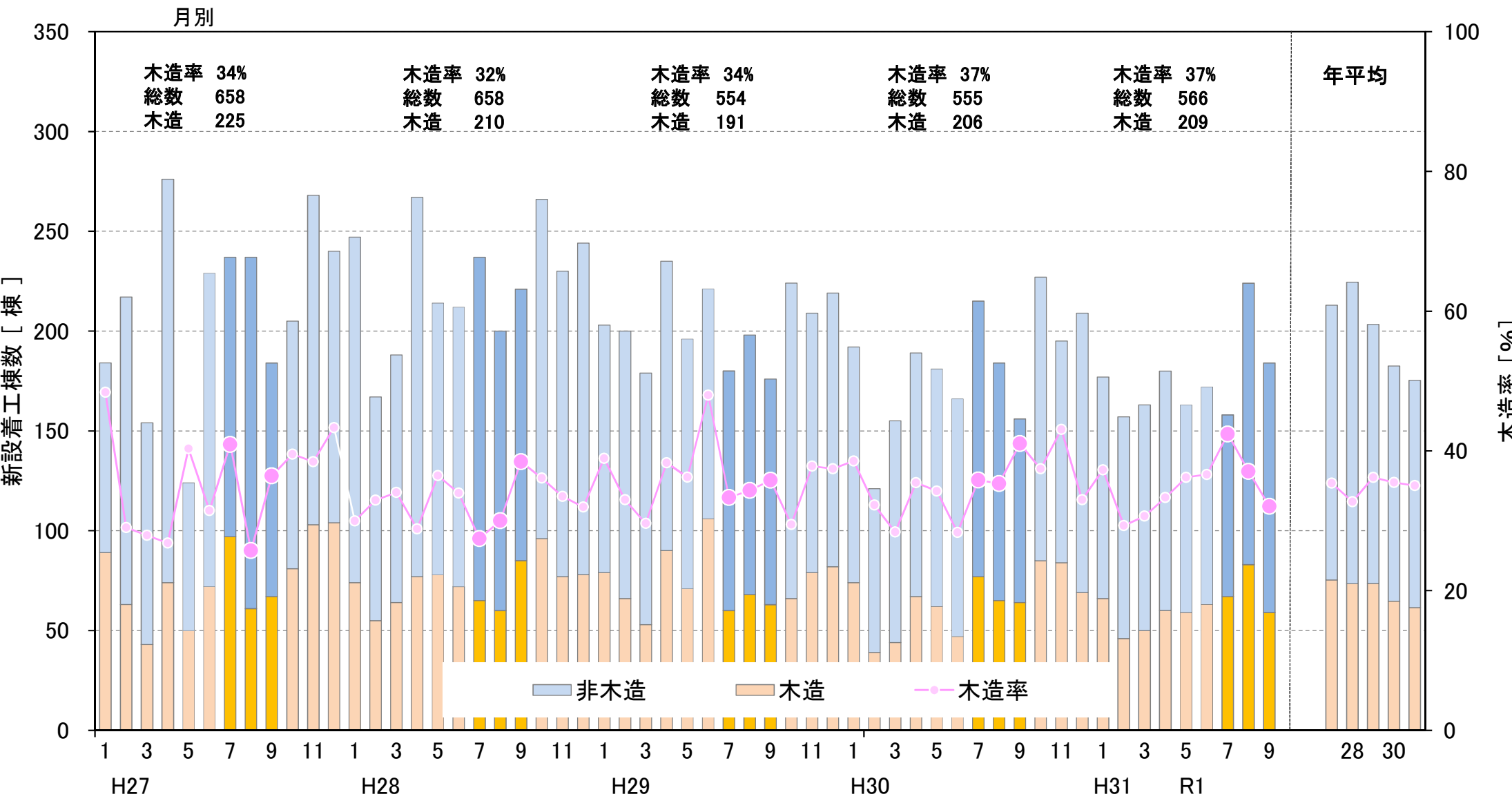
○ 岩手県の令和元年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より11棟減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より46棟増加し、木造率は12%増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# 宮城県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年9月)

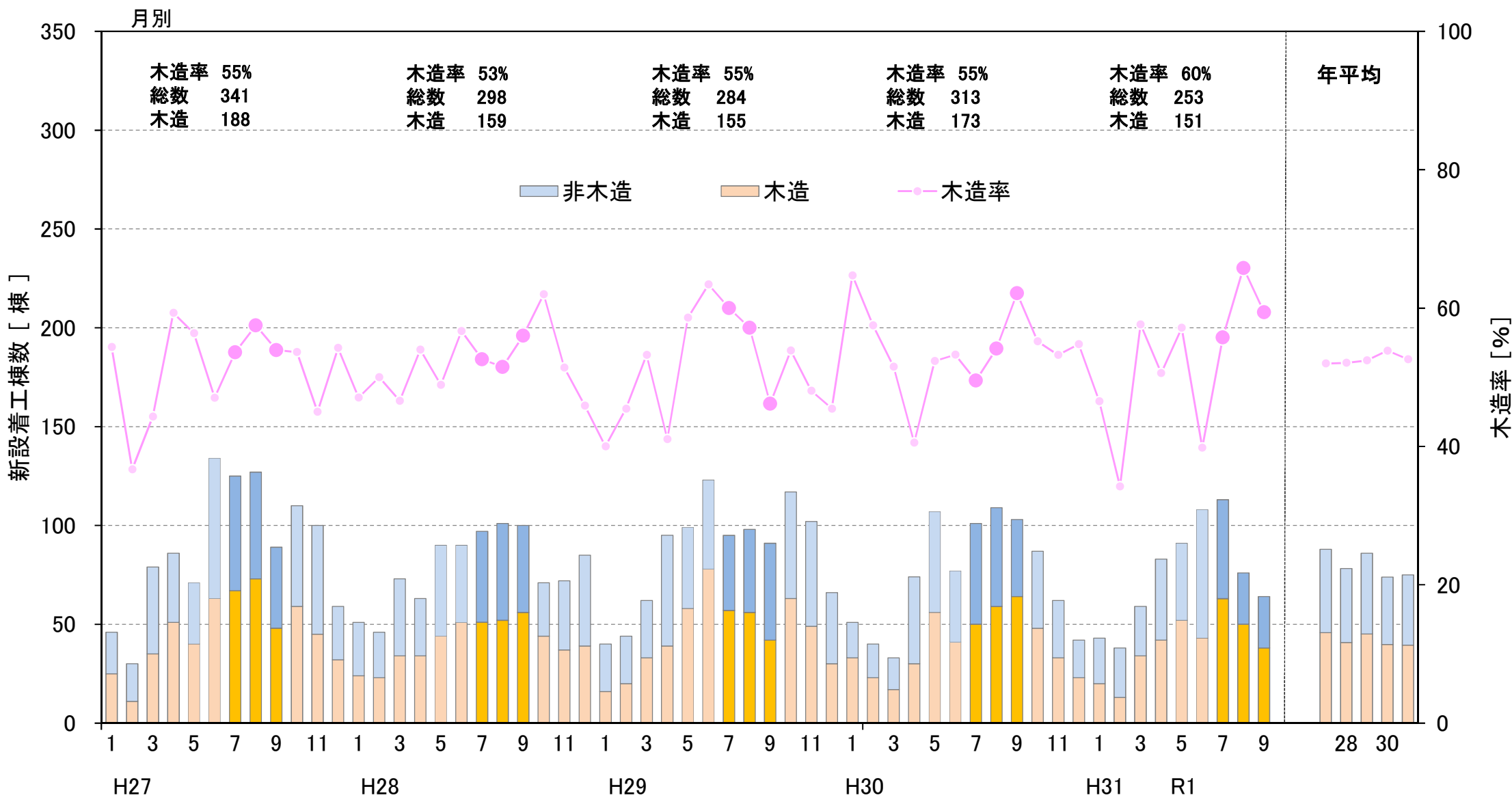
○ 宮城県の令和元年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より11棟増加した。この期間の木造は昨年同期より3棟増加し、木造率に変化はなかった。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# ■ 秋田県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年9月)

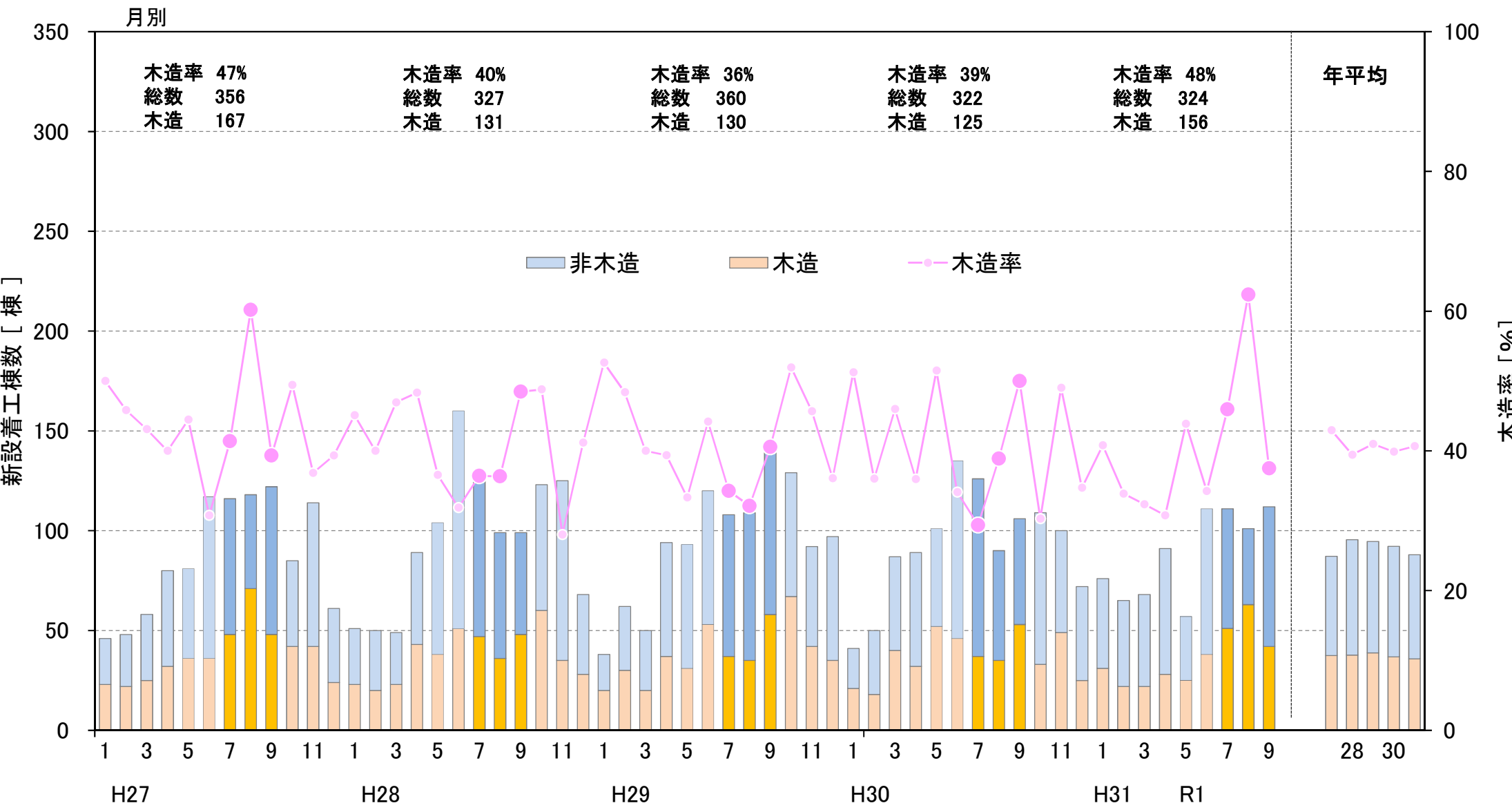
○ 秋田県の令和元年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より60棟減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より22棟減少し、木造率は5%増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# 山形県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年9月)

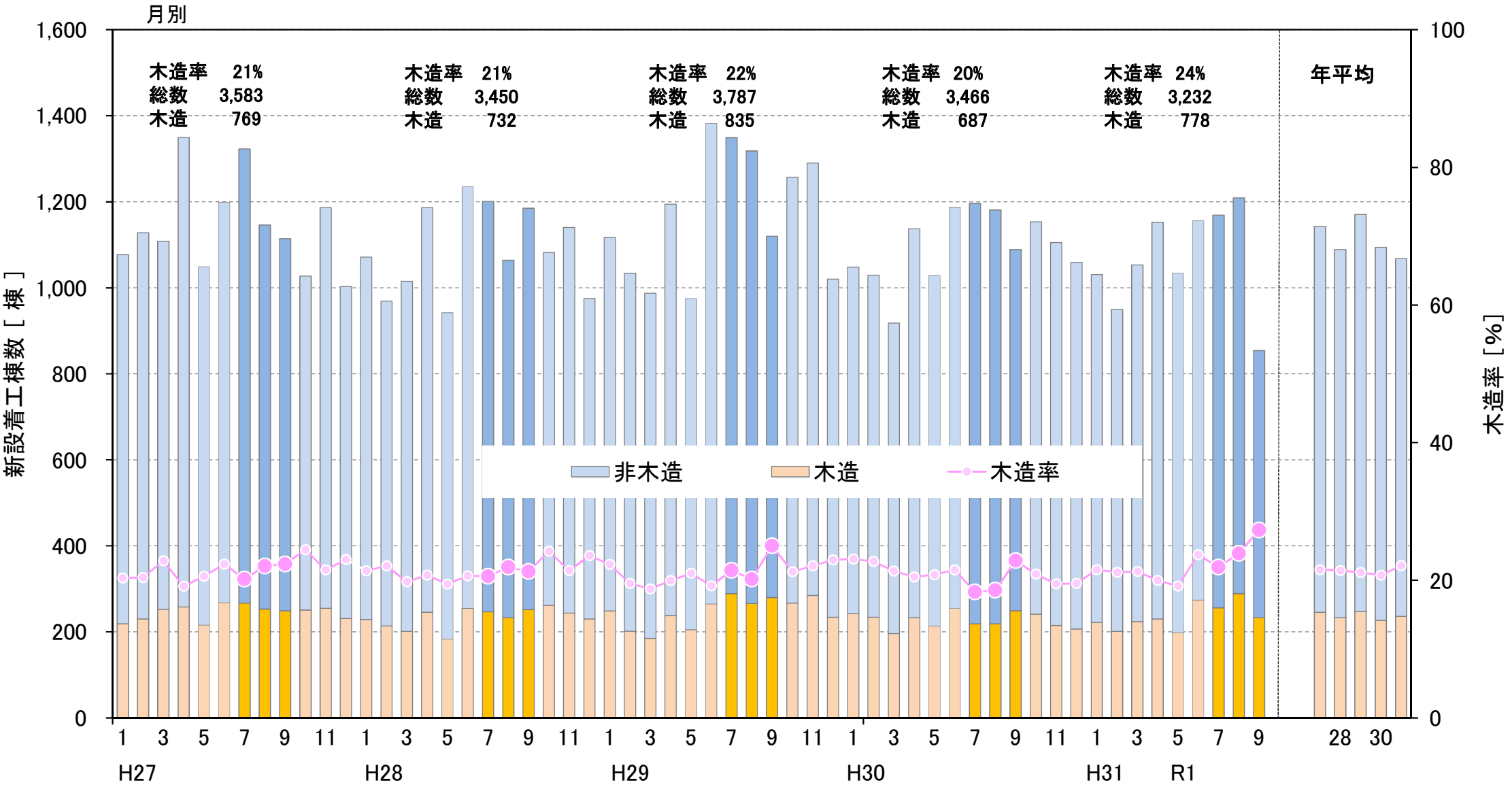
○ 山形県の令和元年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より2棟増加した。  
 この期間の木造は昨年同期より31棟増加し、木造率は9%増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成27年1月～令和元年9月)

○ 関東主要都市の令和元年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より234棟減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より91棟増加し、木造率は4%増加した。

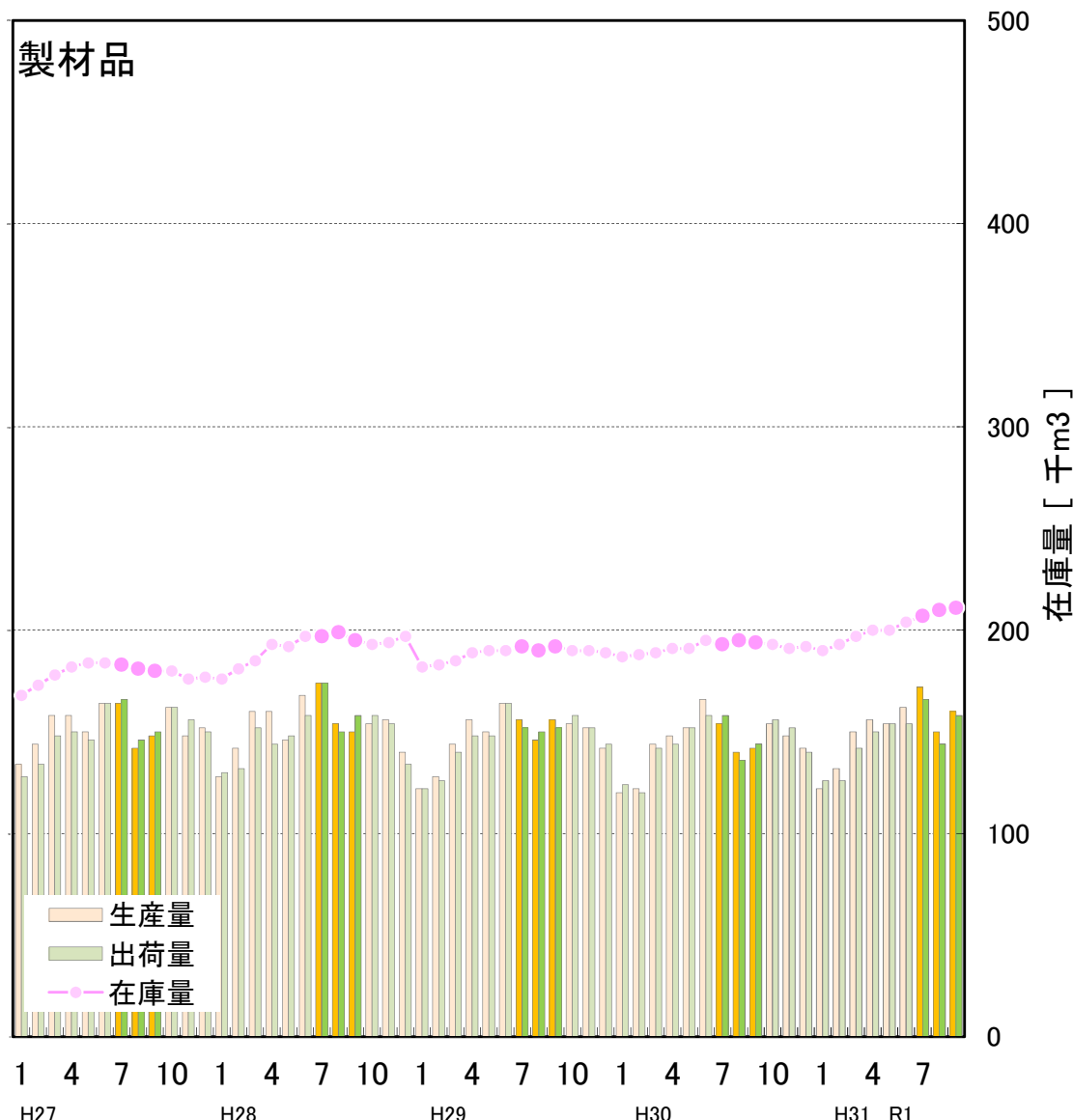
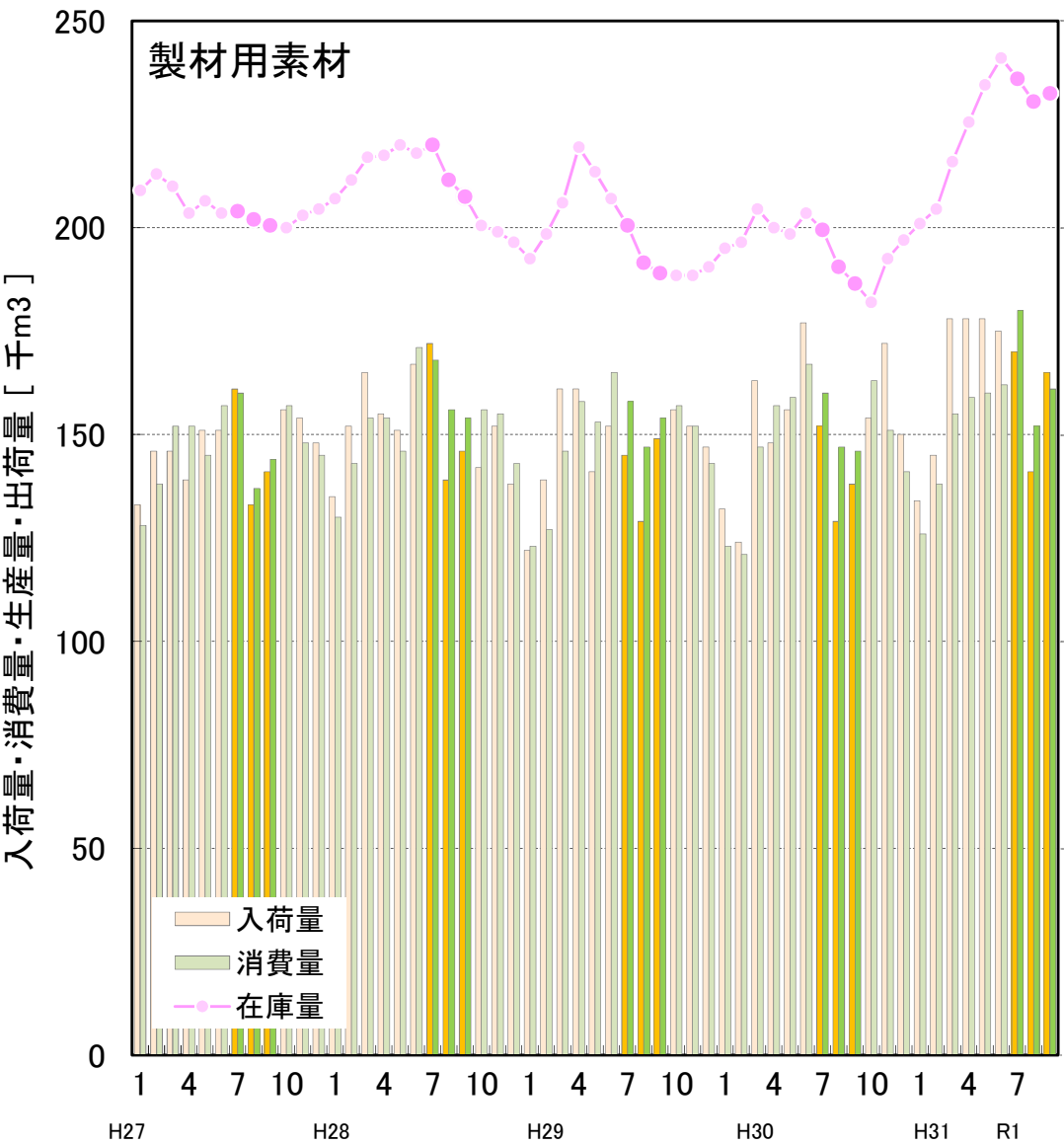


出典：国土交通省「建築着工統計」



# ■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年9月)

○ 製材用素材の令和元年7～9月の入荷量は昨年同期比+14%、消費量は+9%、在庫量は9月比+25%。  
 ○ 製材品の令和元年7～9月の生産量は昨年同期比+11%、出荷量は+7%、在庫量は9月比+9%。

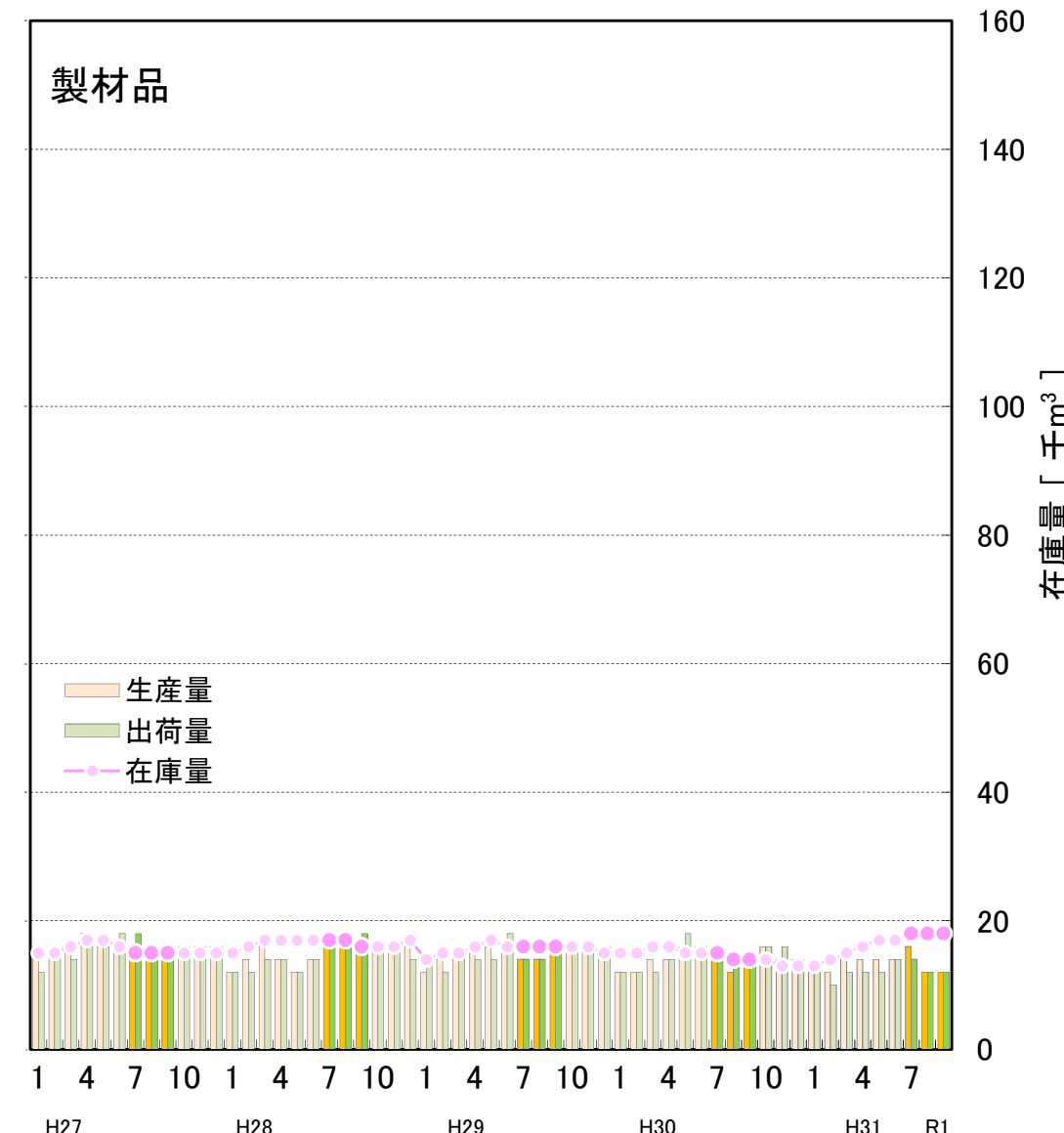
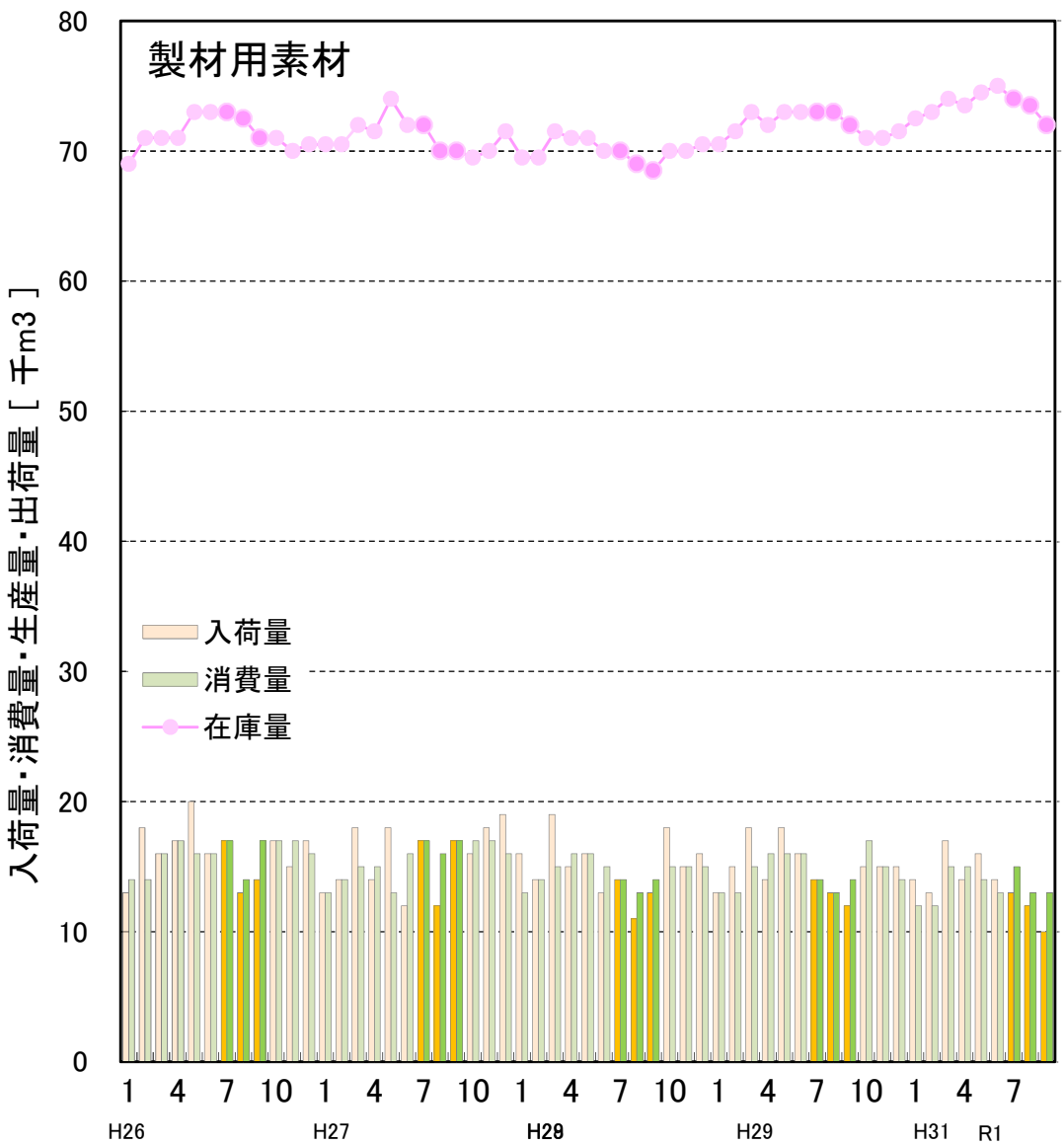


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年9月)

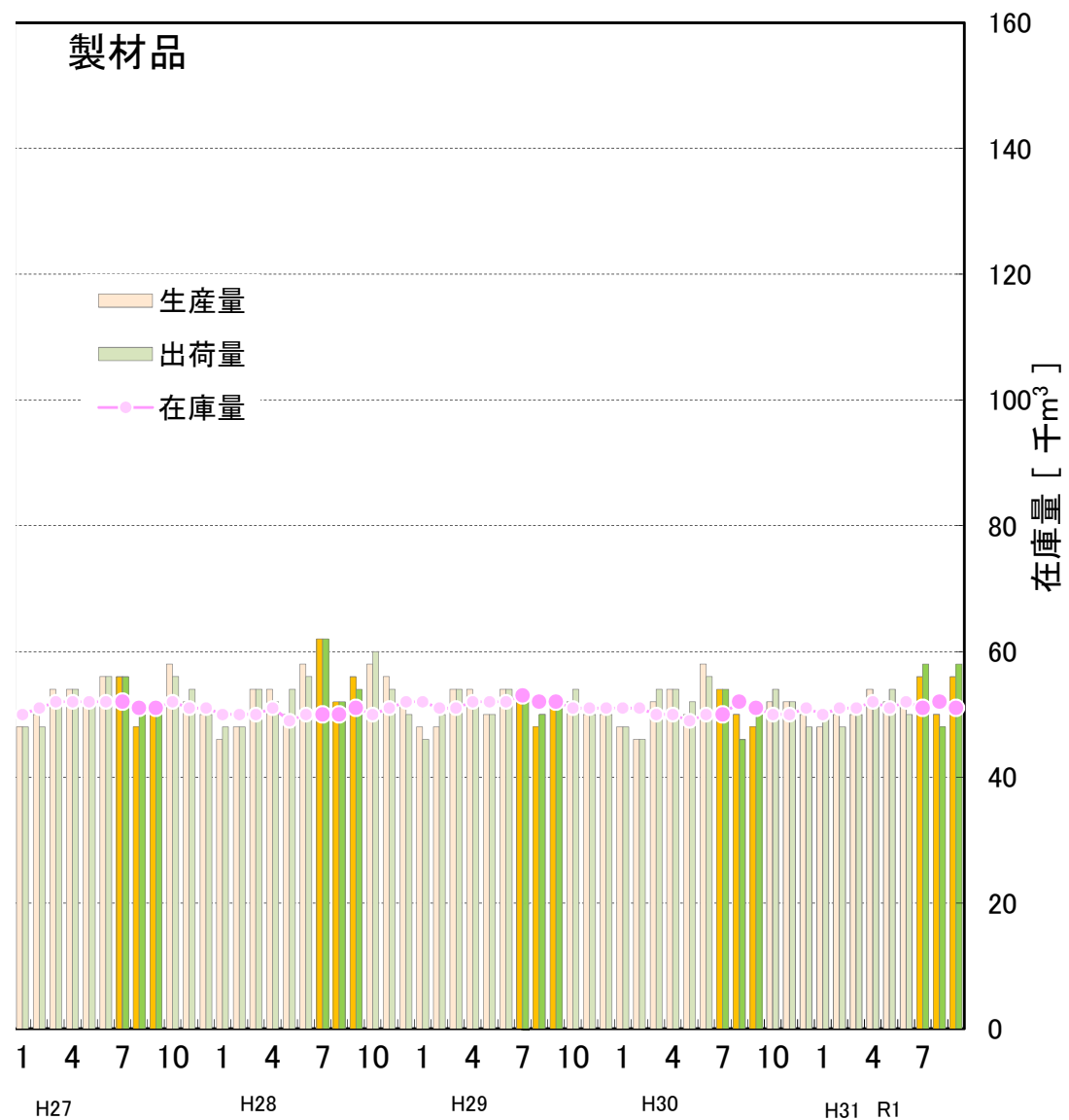
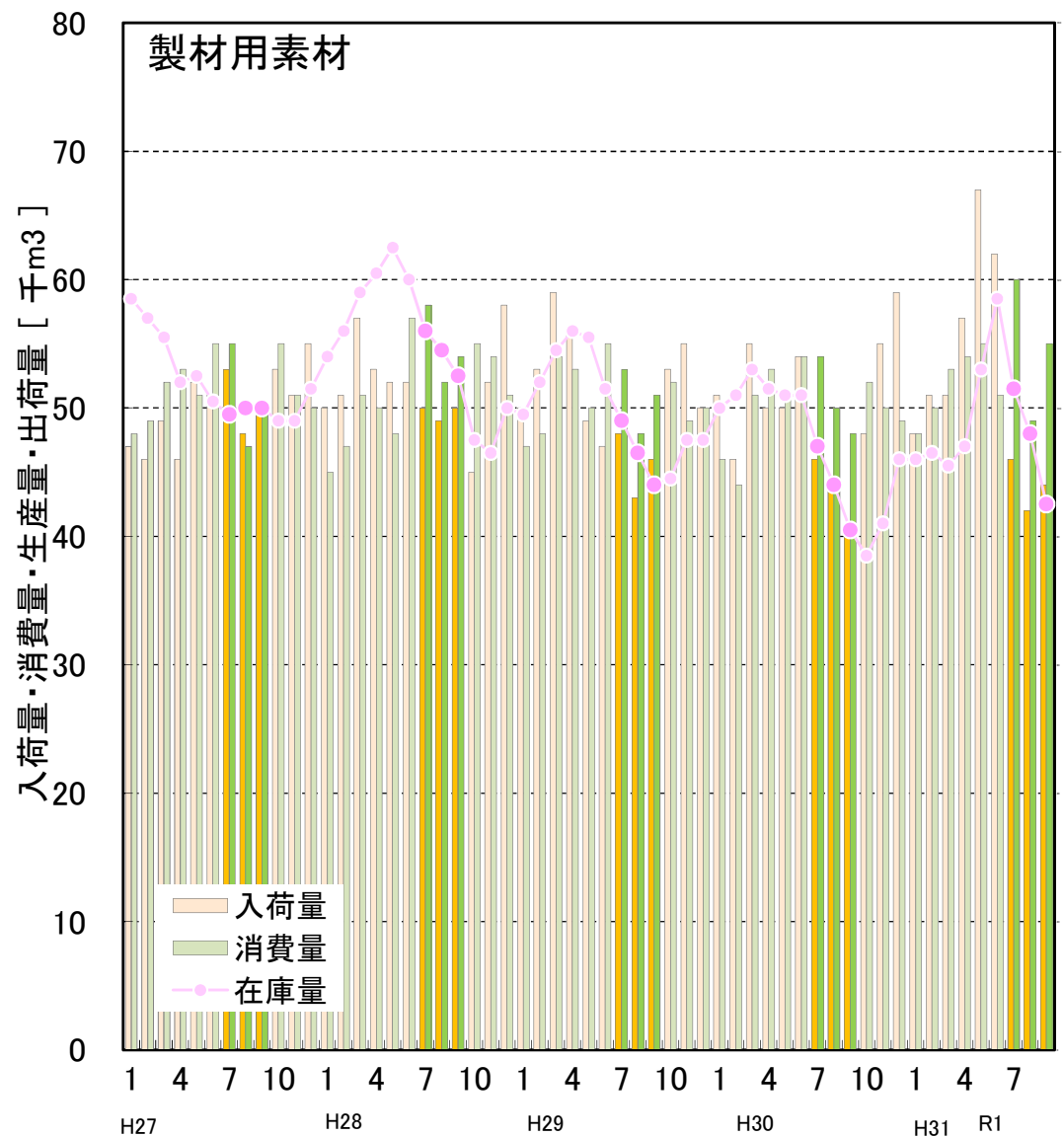
- 製材用素材の令和元年7～9月の入荷量は去年同期比-10%、消費量は±0%、在庫量は9月比±0%。
- 製材品の令和元年7～9月の生産量は去年同期比±0%、出荷量は-10%、在庫量は9月比+29%。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

# ■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年9月)

○ 製材用素材の令和元年7～9月の入荷量は昨年同期比+1%、消費量は+8%、在庫量は9月比+5%。  
 ○ 製材品の令和元年7～9月の生産量は昨年同期比+7%、出荷量は+9%、在庫量は9月比±0%。

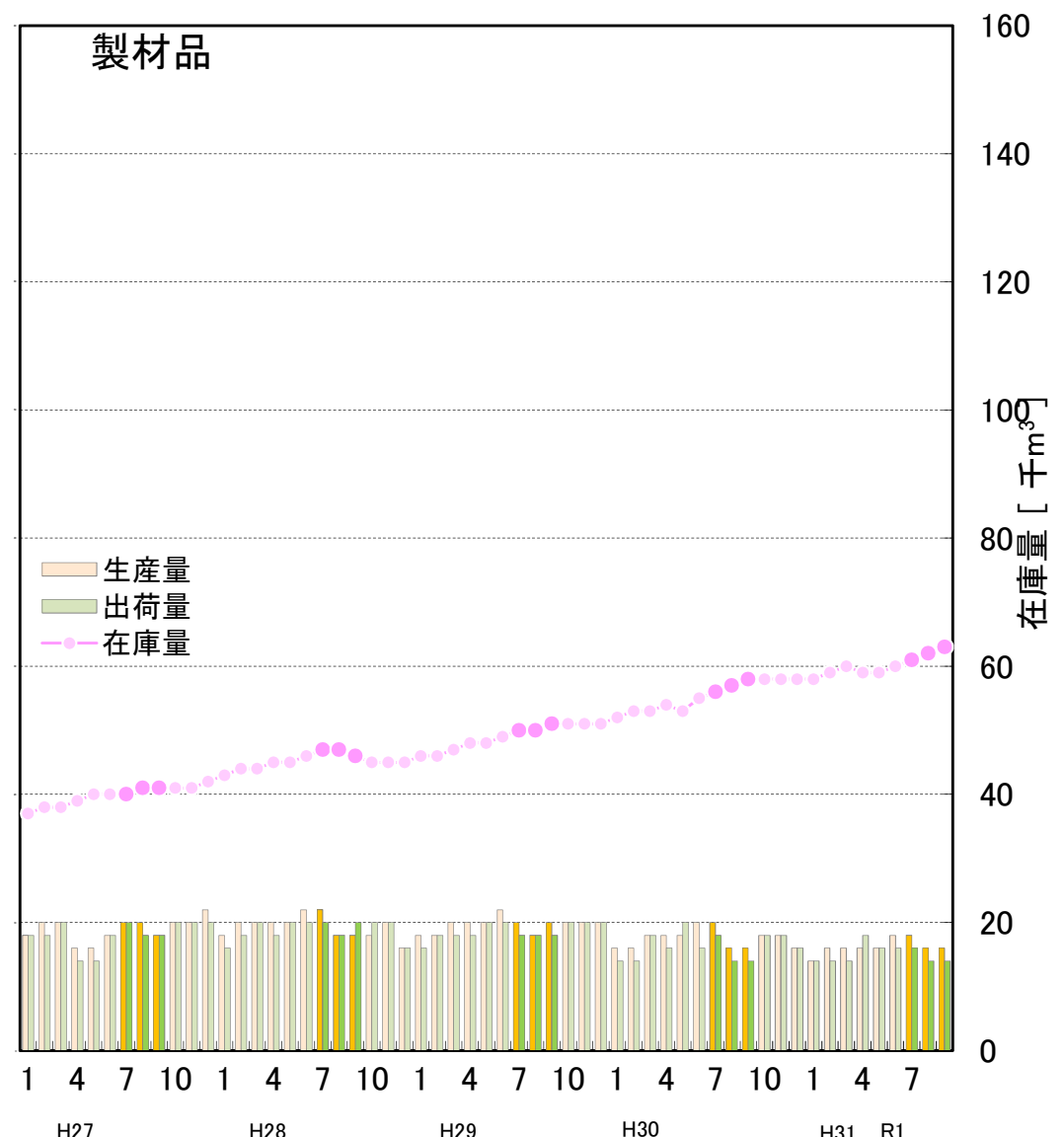
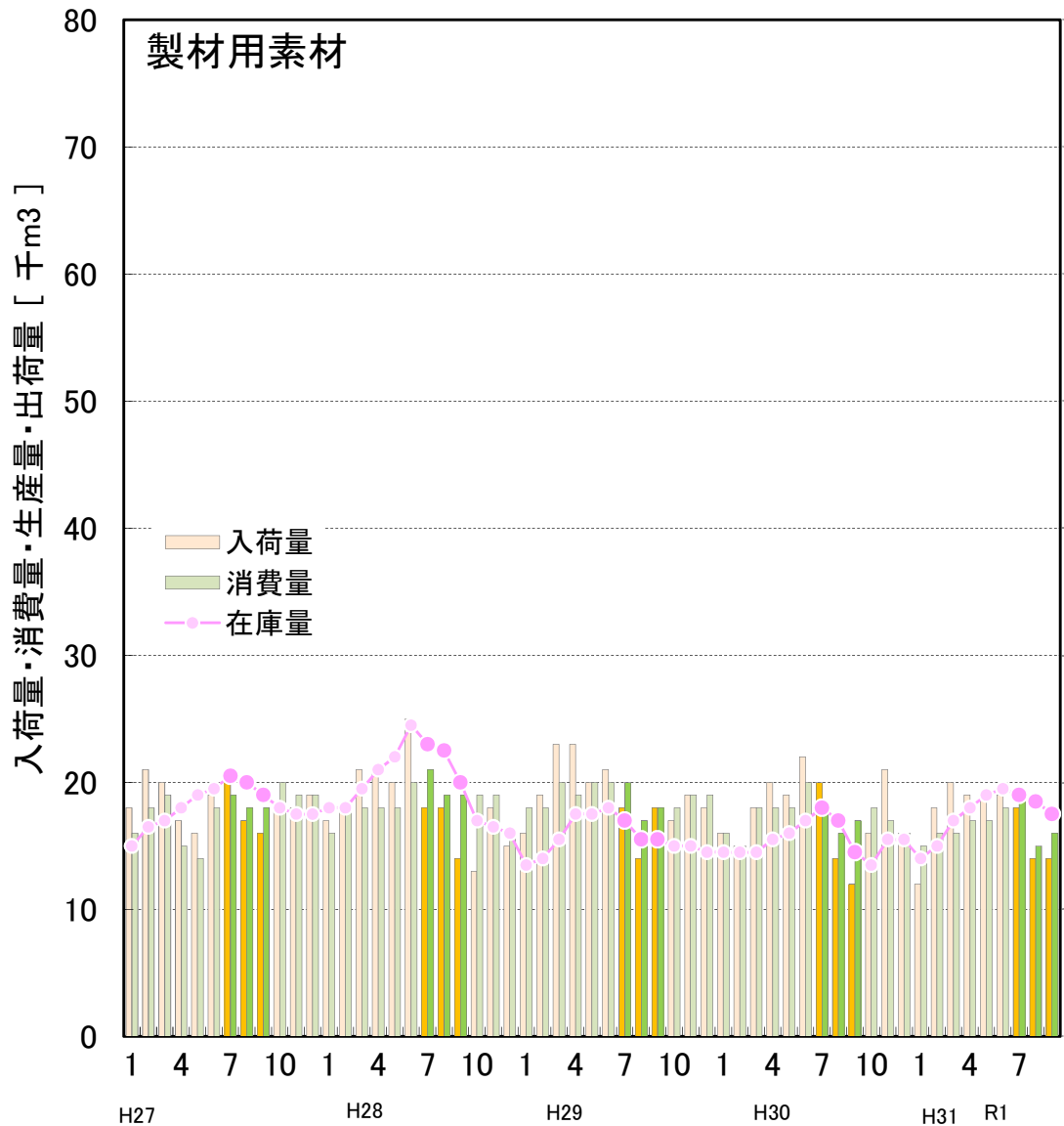


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年9月)

- 製材用素材の令和元年7～9月の入荷量は去年同期比±0%、消費量は-2%、在庫量は9月比+21%。
- 製材品の令和元年度7～9月の生産量は去年同期比-4%、出荷量は-4%、在庫量は9月比+9%。

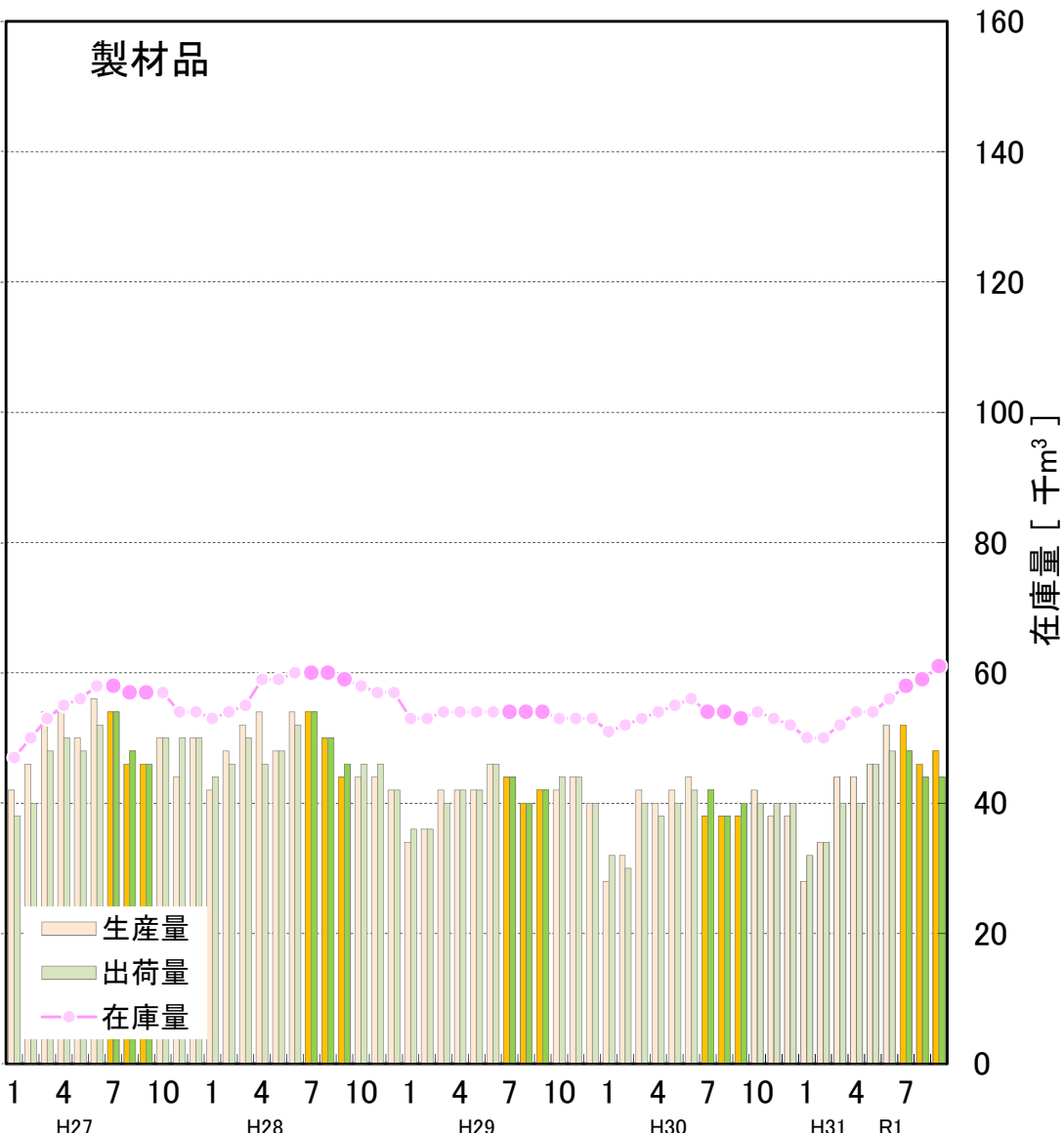
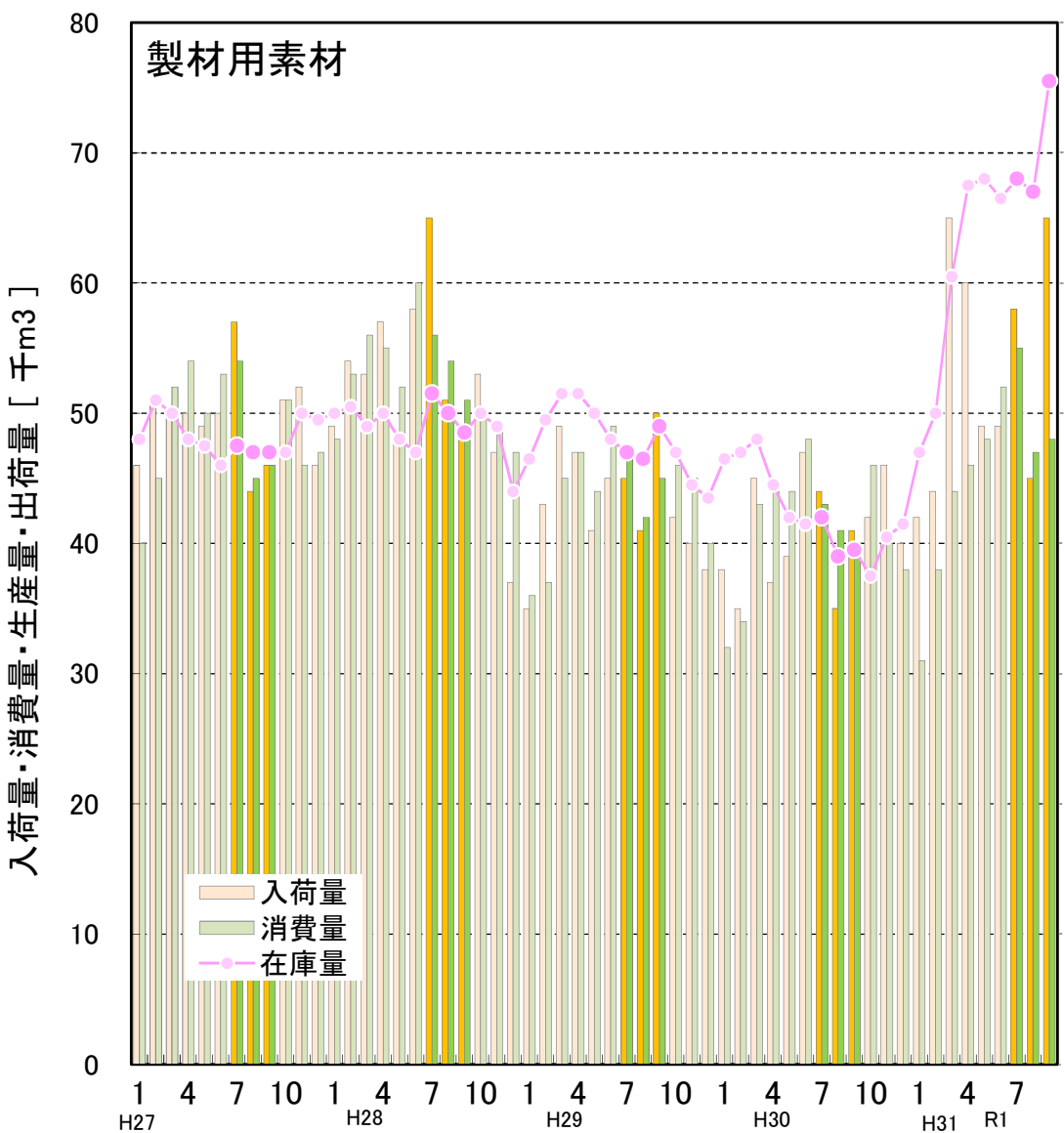


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年9月)

- 製材用素材の令和元年7～9月の入荷量は昨年同期比+40%、消費量は+21%、在庫量は9月比+91%。
- 製材品の令和元年7～9月の生産量は昨年同期比+28%、出荷量は+13%、在庫量は9月比+15%。

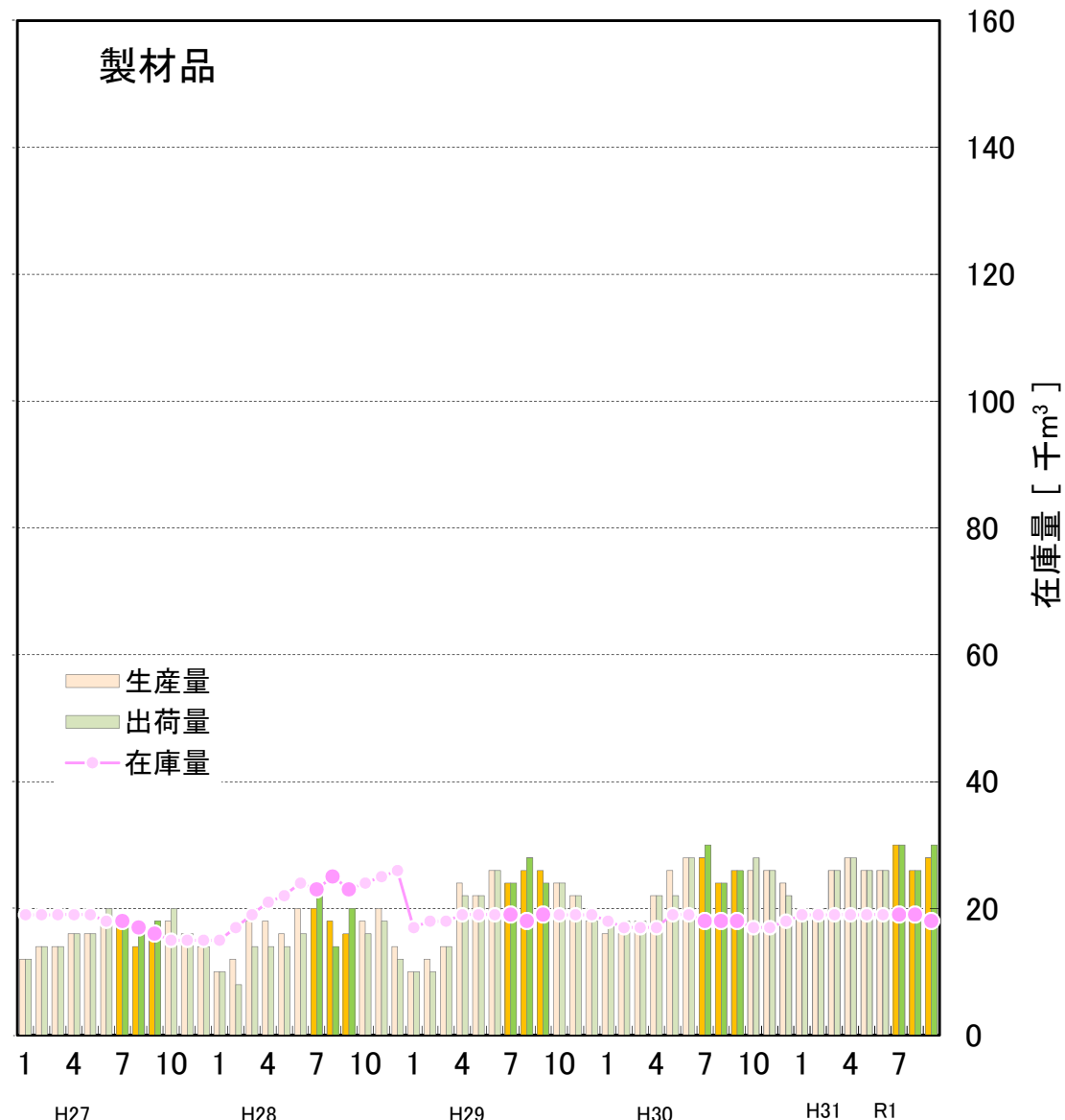
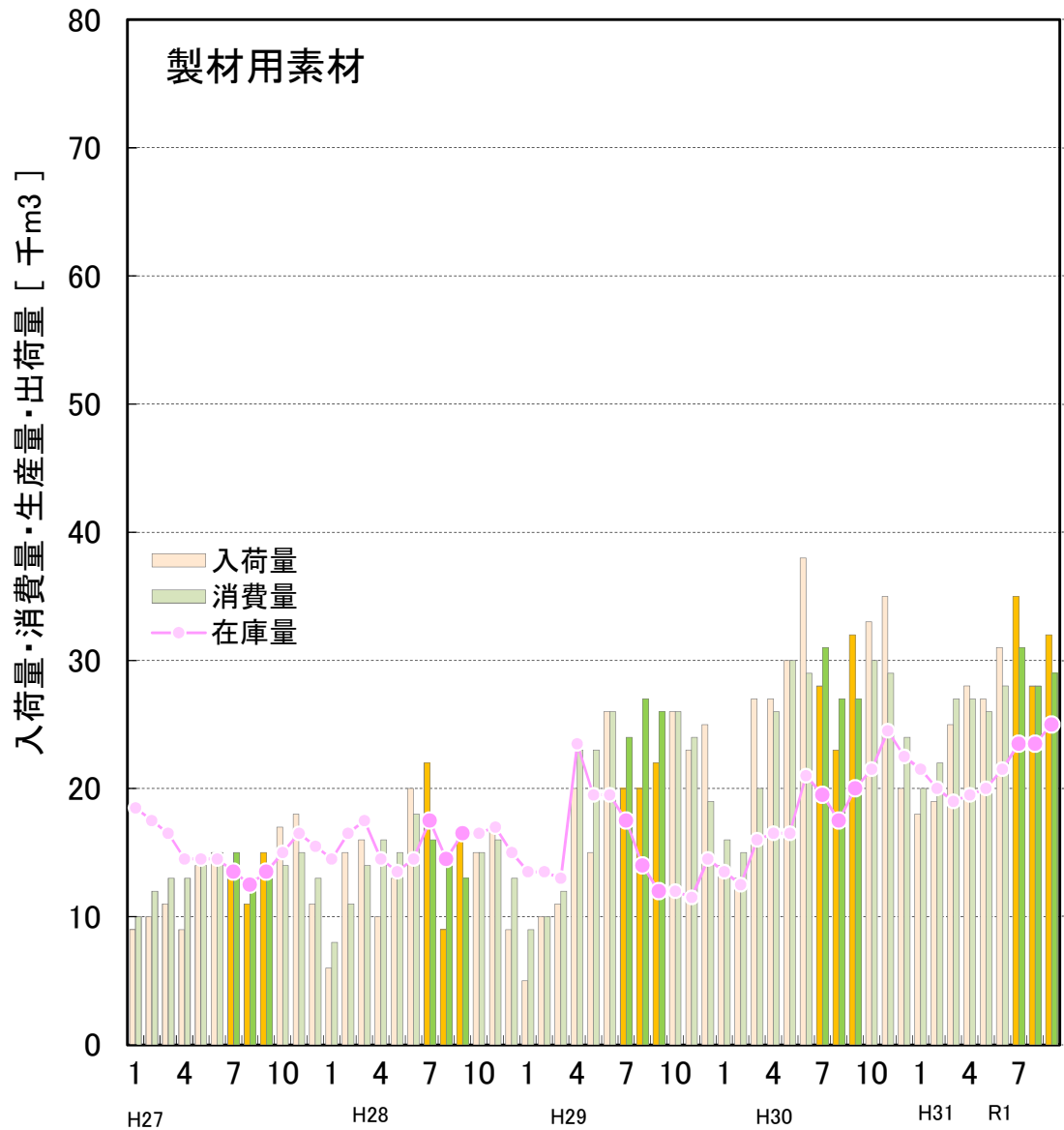


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# 山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成27年1月～令和元年9月)

- 製材用素材の令和元年7～9月の入荷量は昨年同期比+14%、消費量は+4%、在庫量は9月比+25%。
- 製材品の令和元年7～9月の生産量は昨年同期比+8%、出荷量は+8%、在庫量は9月比±0%。

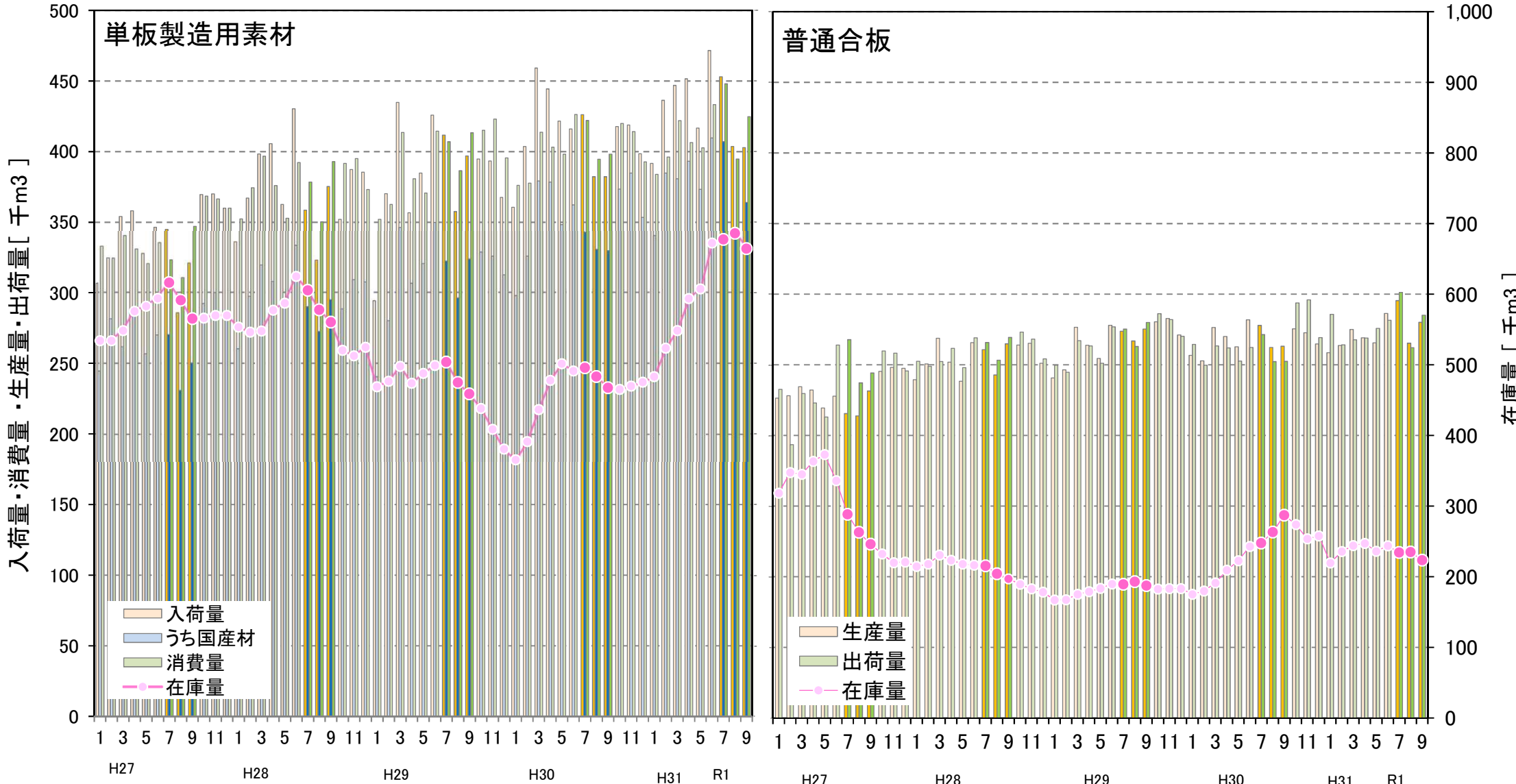


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 全国の単板製造用素材・普通合板の入荷量等の推移(平成27年1月～令和元年9月)

- 単板製材用素材の令和元年7～9月期の入荷量は去年同期比+6%、うち国産材は+11%、消費量は+4%、在庫量は9月比+42%。
- 普通合板の令和元年7～9月期の生産量は去年同期比+5%、出荷量は+9%、在庫量は9月比-22%



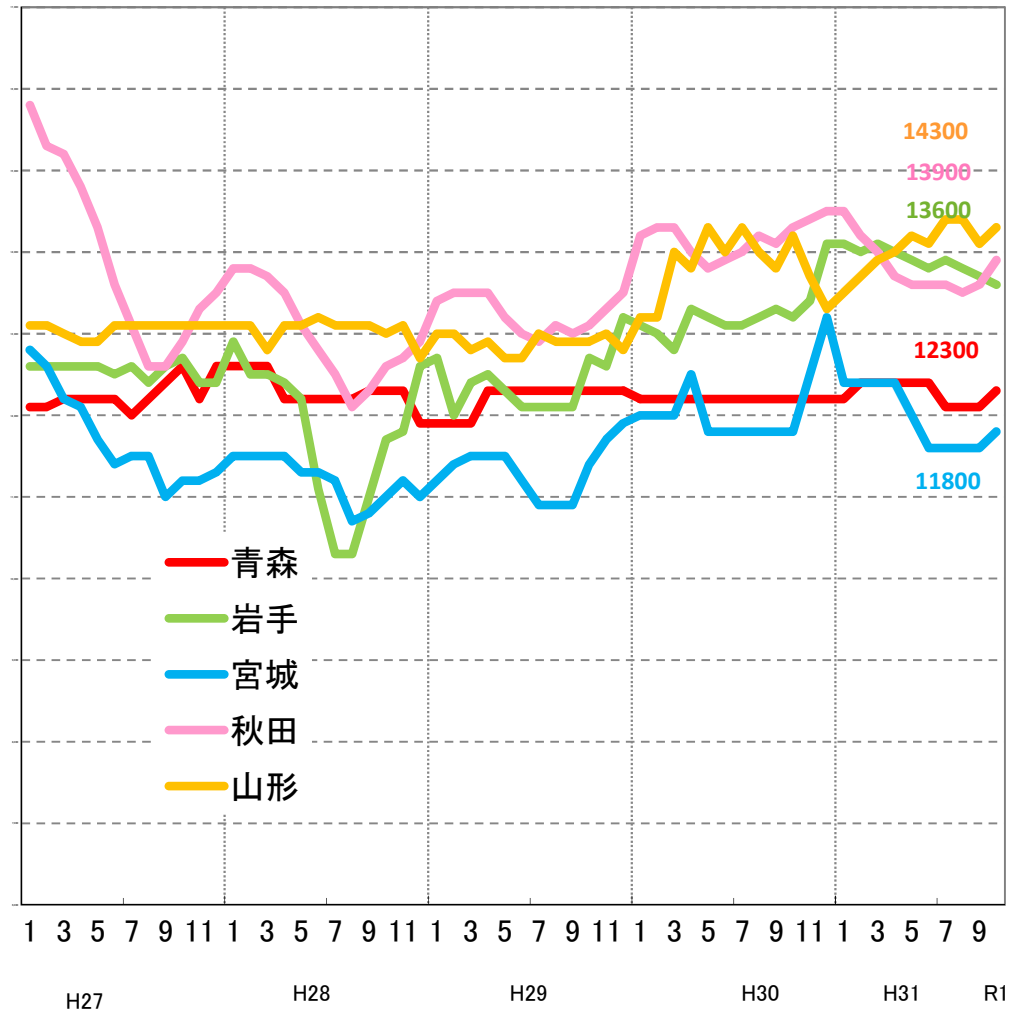
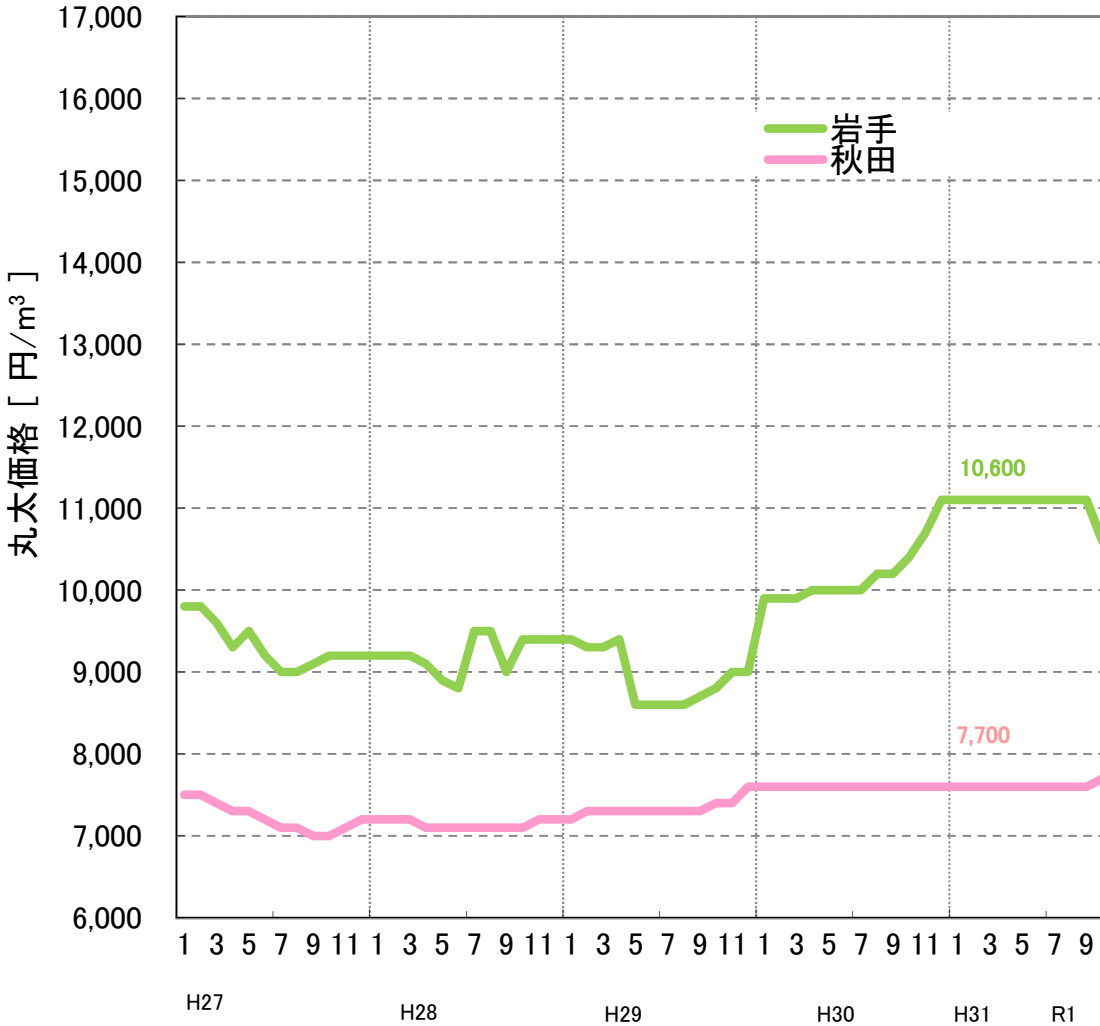
出典：農林水産省「合板統計」  
 ※単板製造用素材の集計値は令和元年6月に、普通合板の集計値は平成31年1月及び令和元年6月に調査対象工場の見直しがあったため、その先月の数値とは接続しない。

# ■ すぎ丸太価格の推移(平成27年1月～令和元年10月)

○ すぎ小丸太価格は、岩手は弱含み、秋田は保合で推移。  
 ○ すぎ中丸太価格は、岩手が弱含み、秋田で強含み、青森・宮城・山形の県は概ね保合で推移。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格。  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。



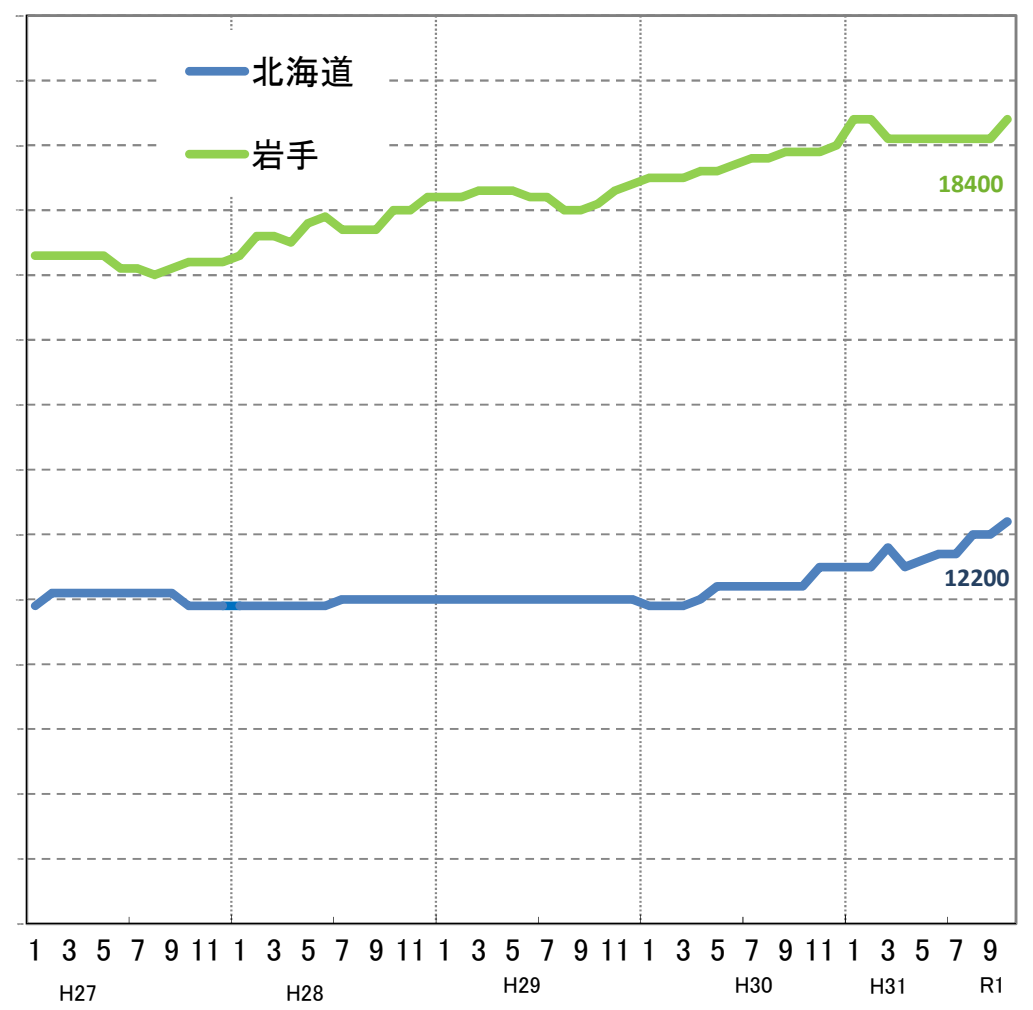
# ■ まつ・からまつ丸太価格の推移(平成27年1月～令和元年10月)

○ まつ中丸太価格は、青森・岩手とも保合で推移。  
 ○ からまつ中丸太価格は、岩手は保合。北海道との価格差は6,100円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

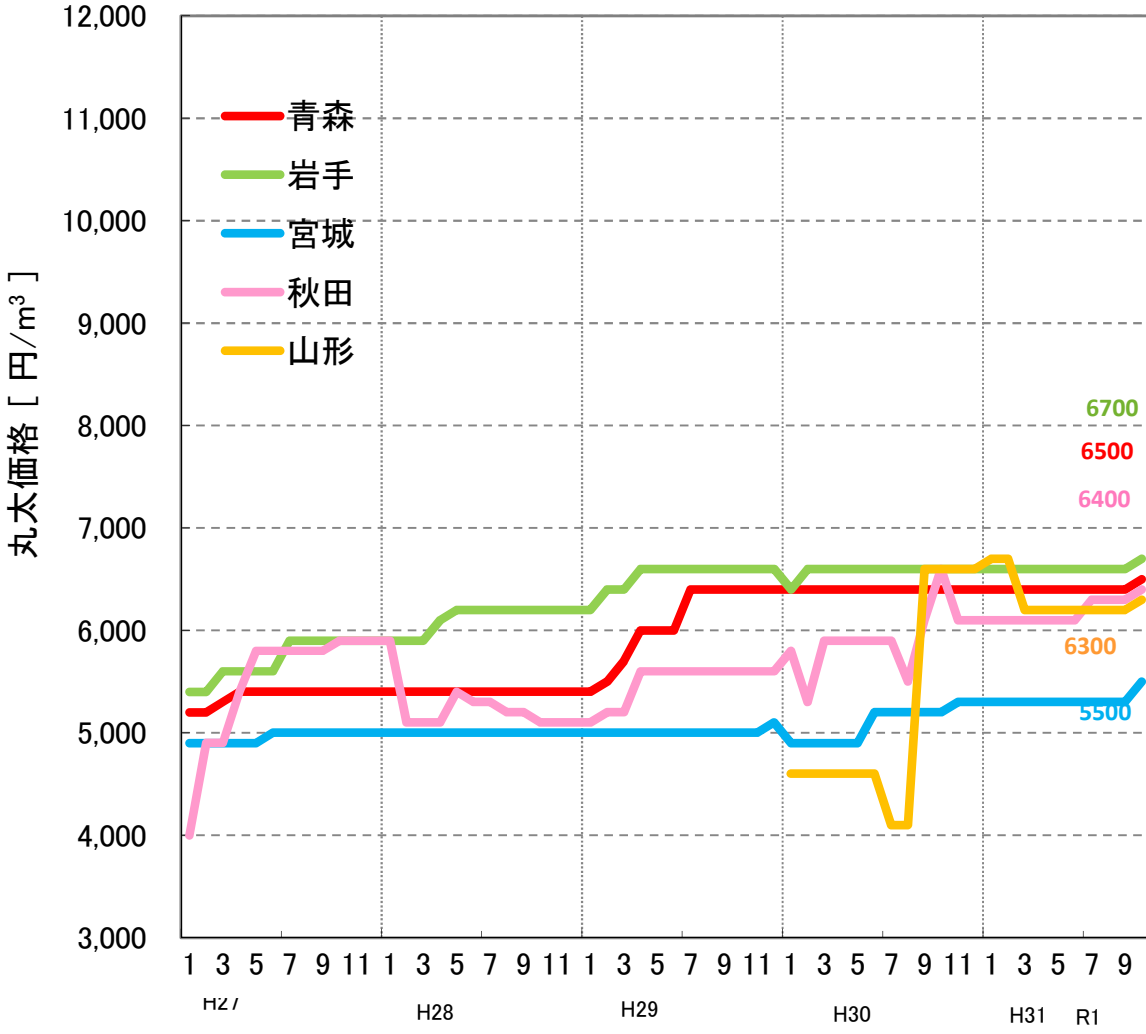


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格。  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

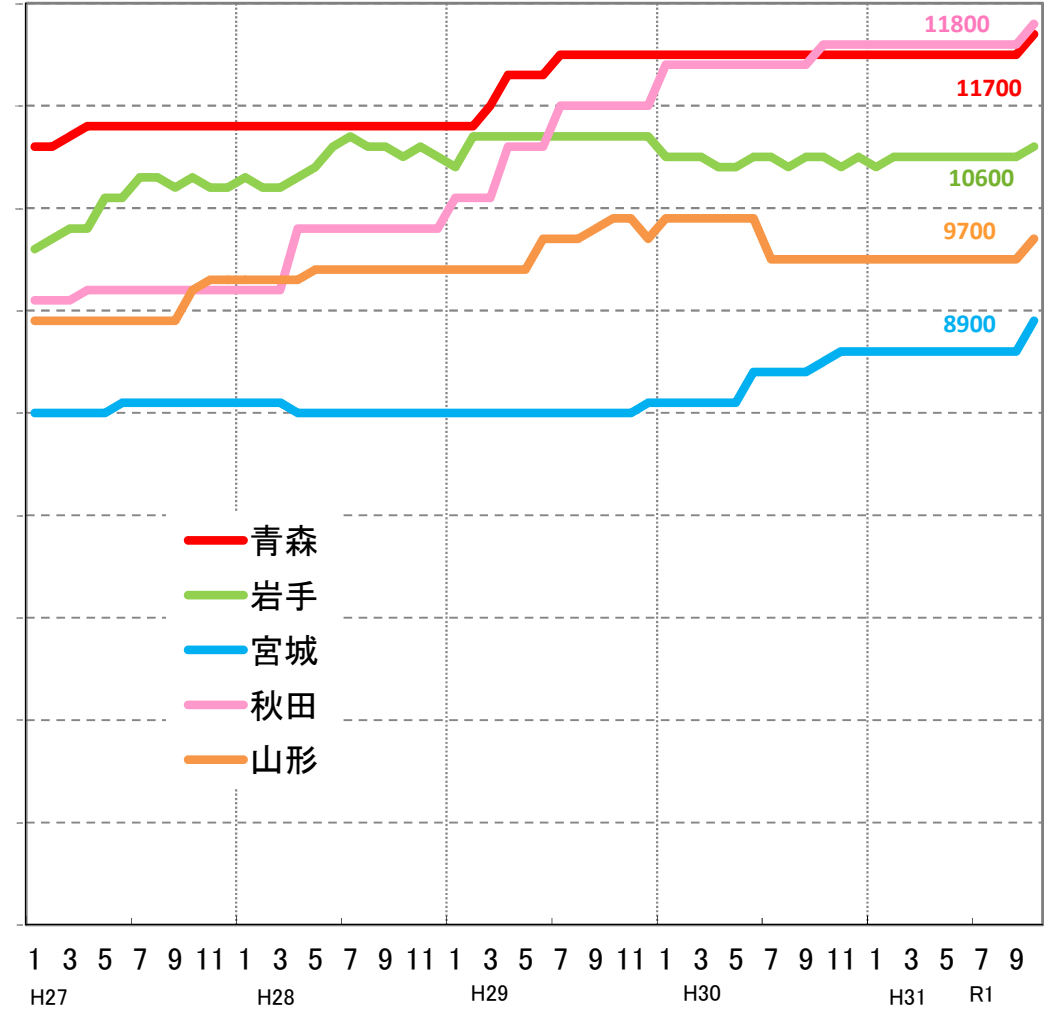
# ■ チップ用丸太価格の推移(平成27年1月～令和元年10月)

○ 針葉樹・広葉樹丸太とも全県で保合で推移。

## 針葉樹材



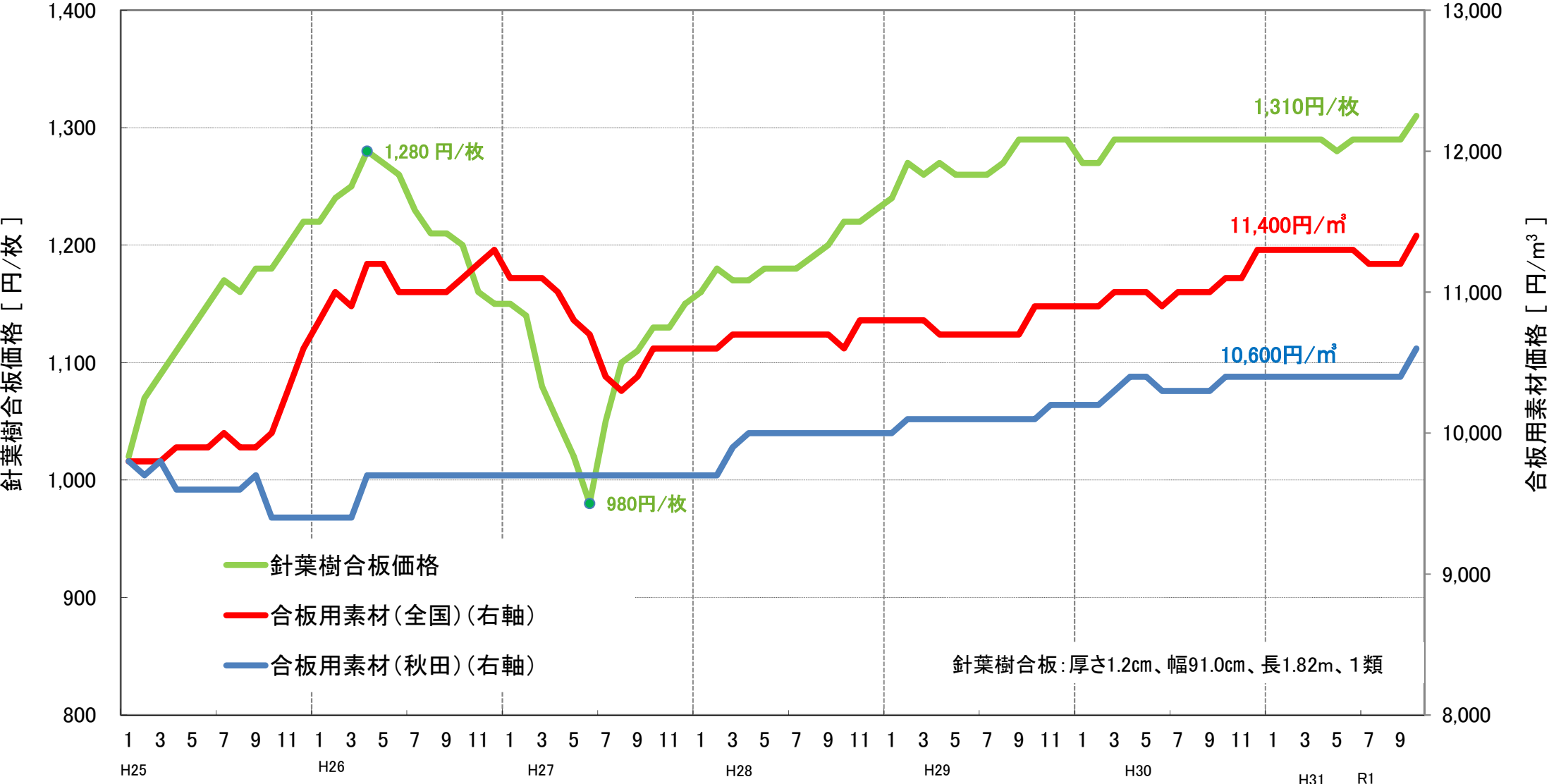
## 広葉樹材



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格。  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移(平成25年1月～令和元年10月)

○ 針葉樹合板価格は1,310円/枚。  
 ○ 合板用素材価格は保合で推移。全国との価格差は800円。

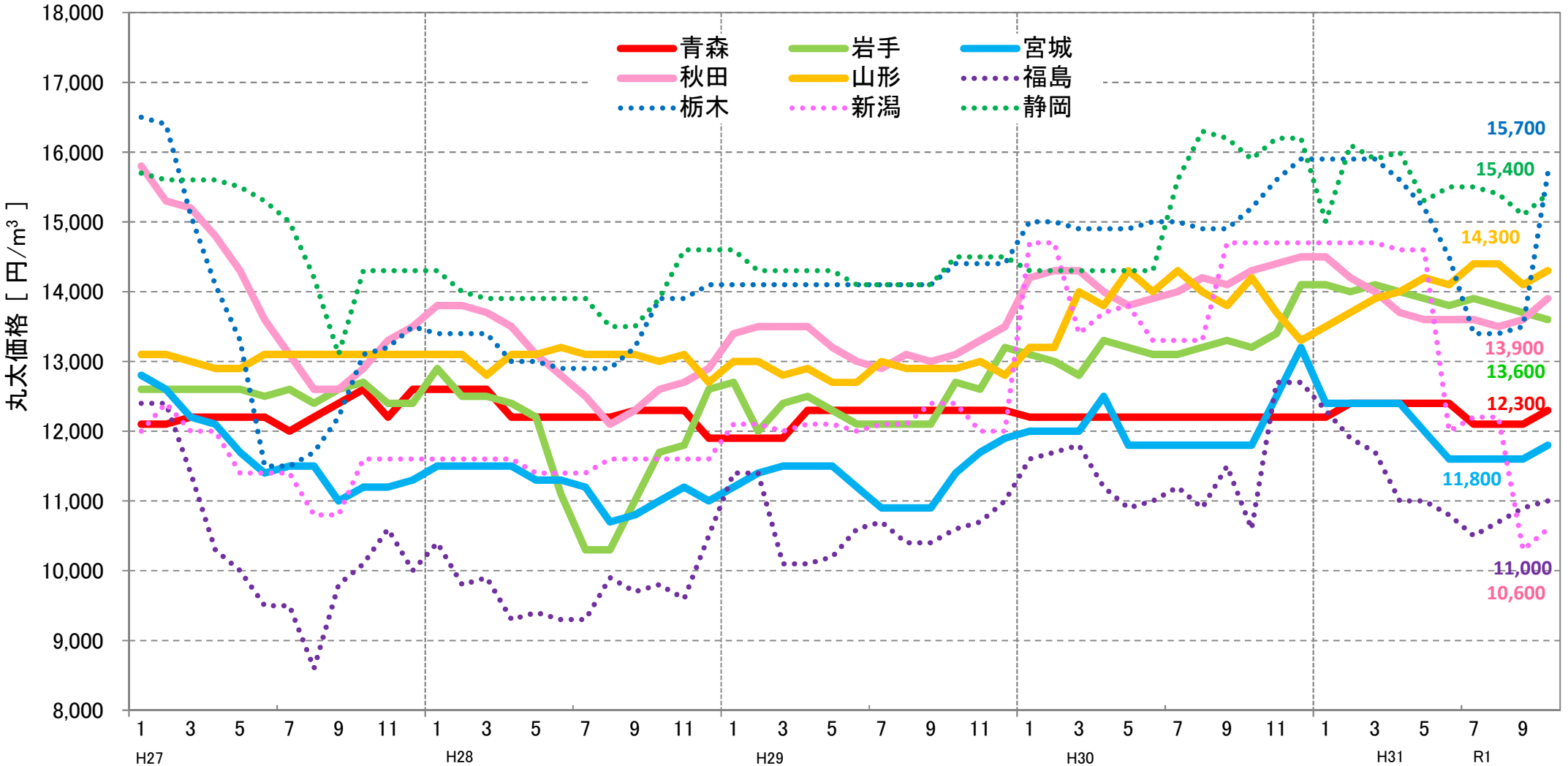


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

# ■ 関東地方との木材価格の比較(平成27年1月～令和元年10月)

○すぎ中丸太価格は、岩手が弱含み、秋田で強含み、青森・宮城・山形の県は概ね保合で推移。  
 ○福島・栃木は値上がり傾向、新潟は値下がり傾向。

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

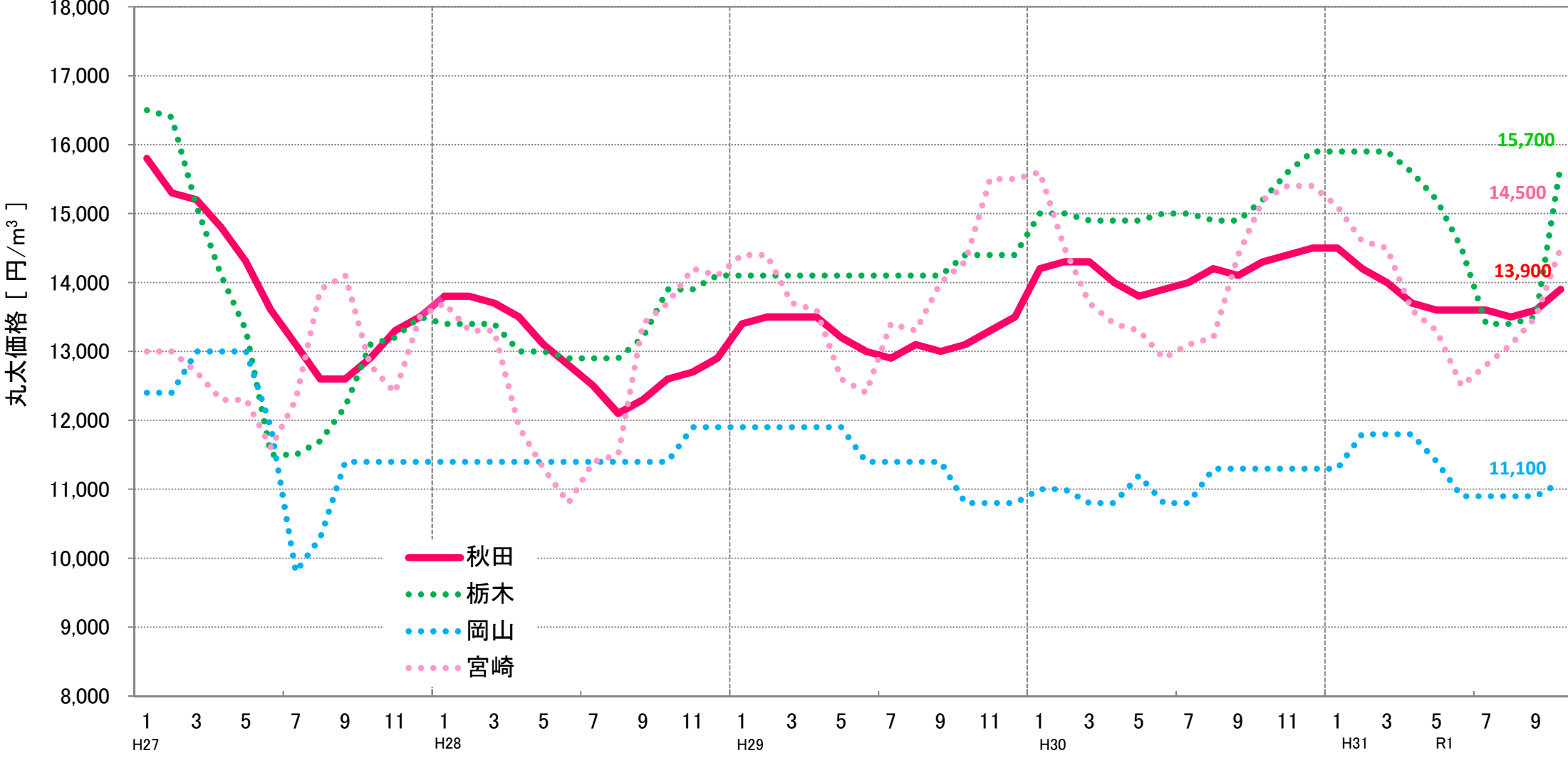


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# ■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較(平成27年1月～令和元年10月)

○ 秋田・栃木・宮崎は強含み、岡山は保合傾向。  
 ○ 秋田と栃木では価格差が1,800円。

すぎ中丸太3.65～4.00m(24～28cm)

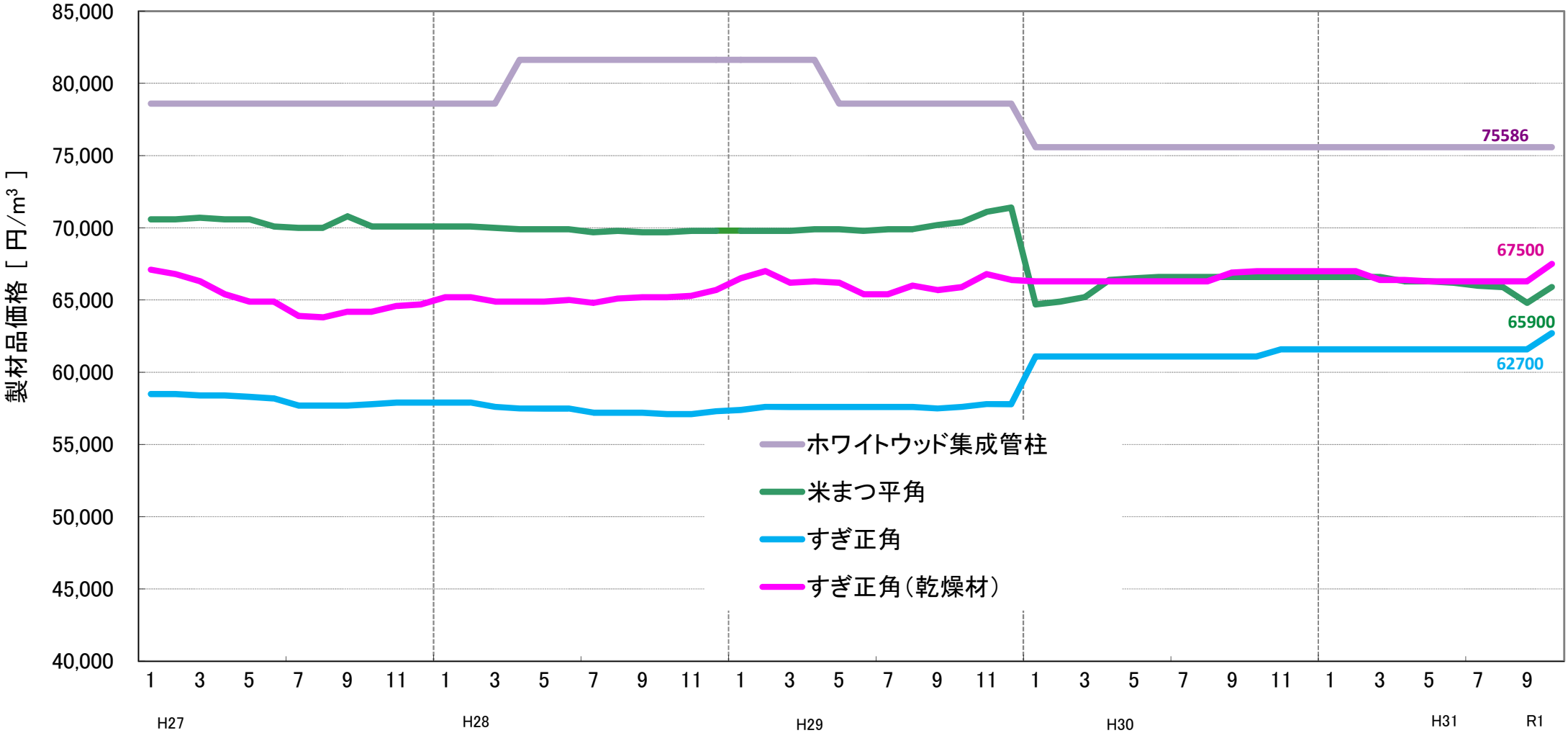


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# ■ 全国の製材品主要品目価格の推移(平成27年1月～令和元年10月)

○ 各製品ともほぼ横ばいで推移。

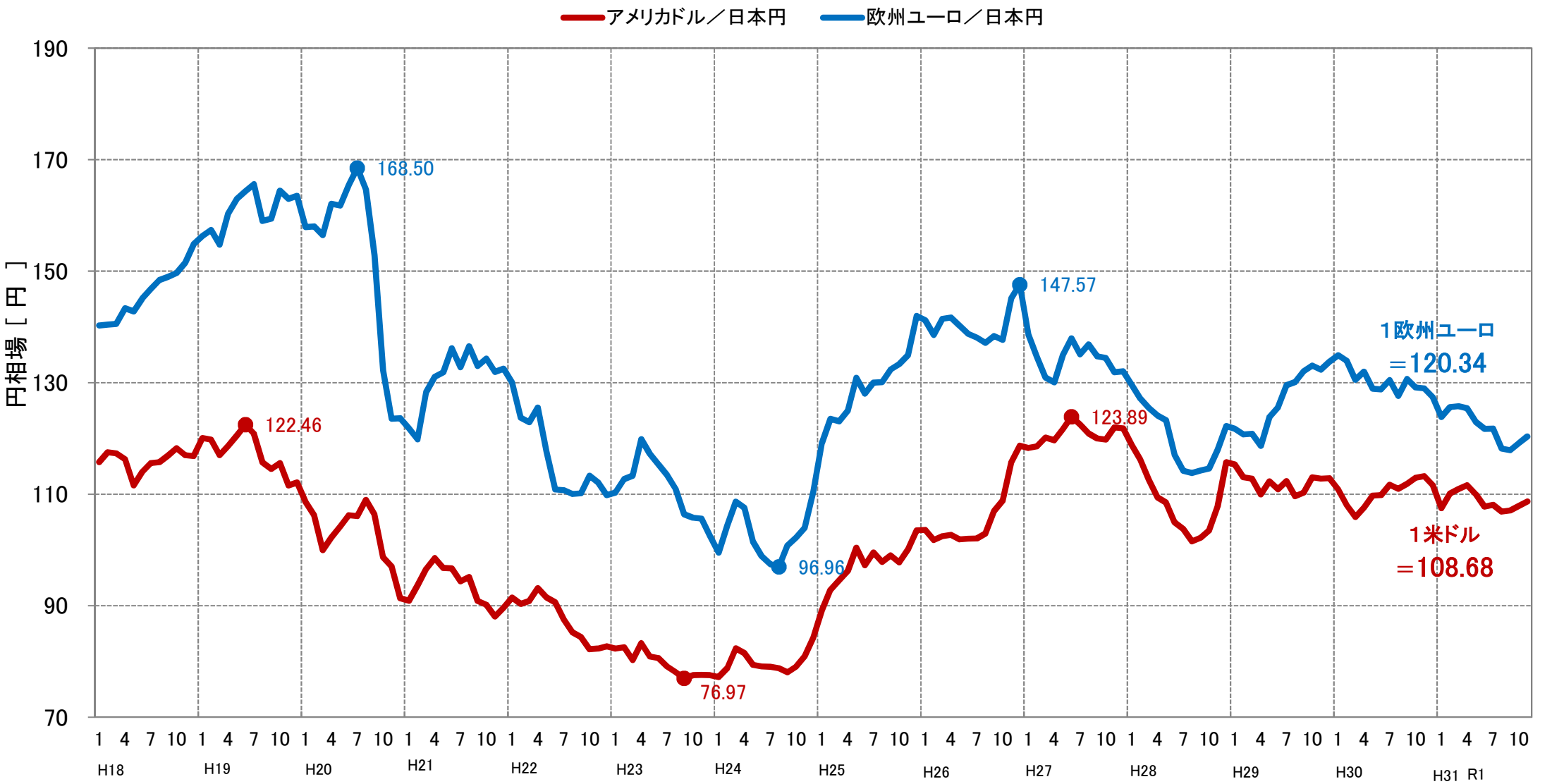
製材品価格



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者への店頭渡し価格。  
 ※ 平成30年1月から、調査都道府県、調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# 為替レートの推移(平成18年1月～令和元年11月18日)

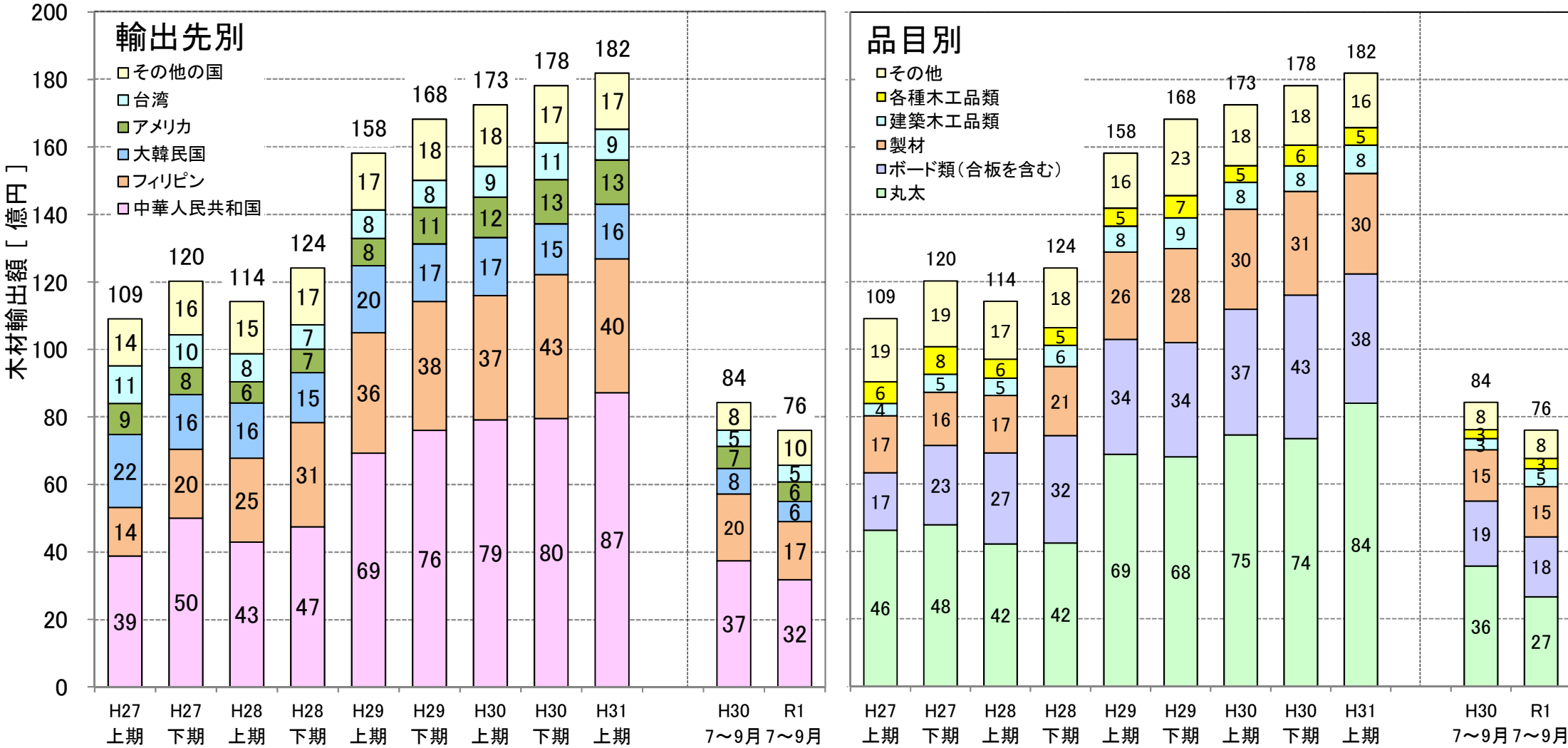
○ 米ドルは、11月6日現在108円台。  
 ○ 欧州ユーロは、11月6日現在120円台。



出典：Yahoo!ファイナンス(毎月の値は月間の最高値と最低値の平均)

# ■ 輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移(全国)

- 木材輸出額は年々増加傾向にあるが、R1年7～9月は前年同期と比較すると-10%となっている。
- R1年7月～9月の主要相手国は、中国、フィリピン、韓国、アメリカ、台湾となっている。
- 品目別輸出額では丸太が最も高く、次いでボード類、製材となっている。
- R1年7～9月と前年同期を品目別に比較すると丸太-15%、ボード類-8%、製材-2%となっている。

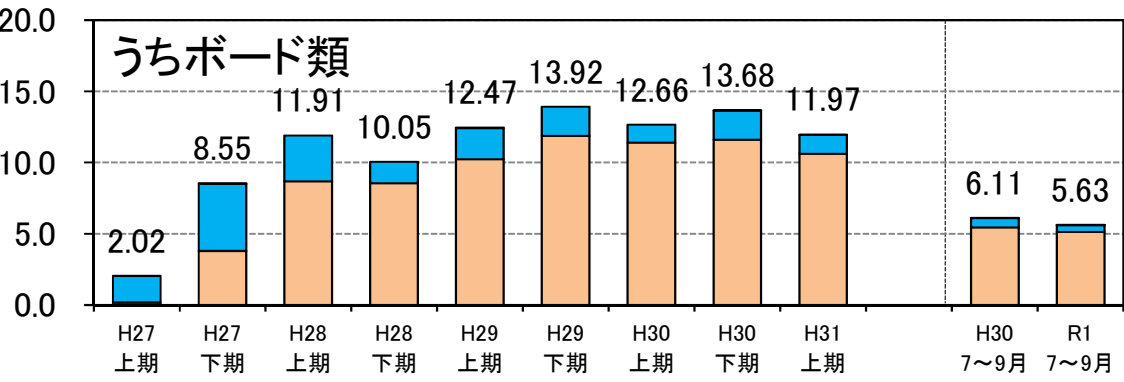
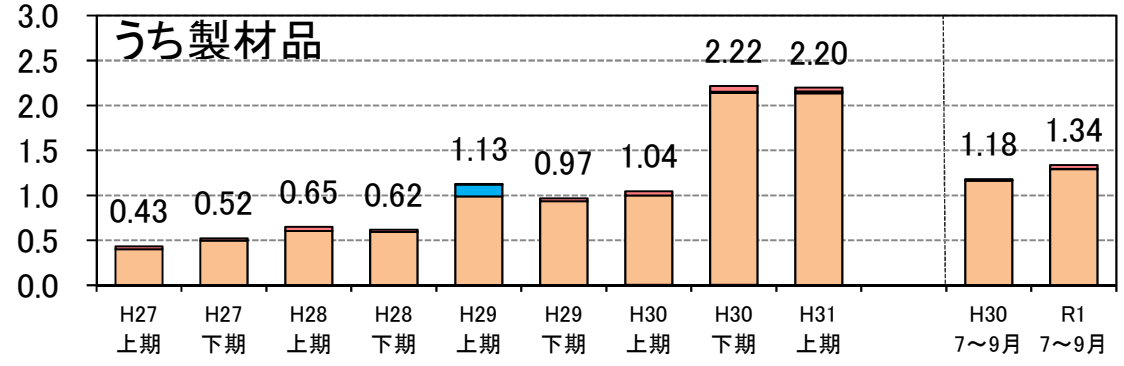
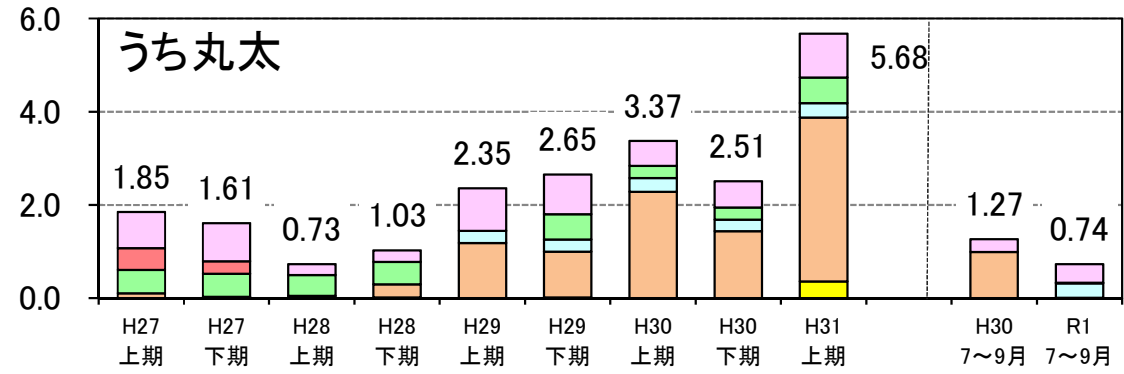
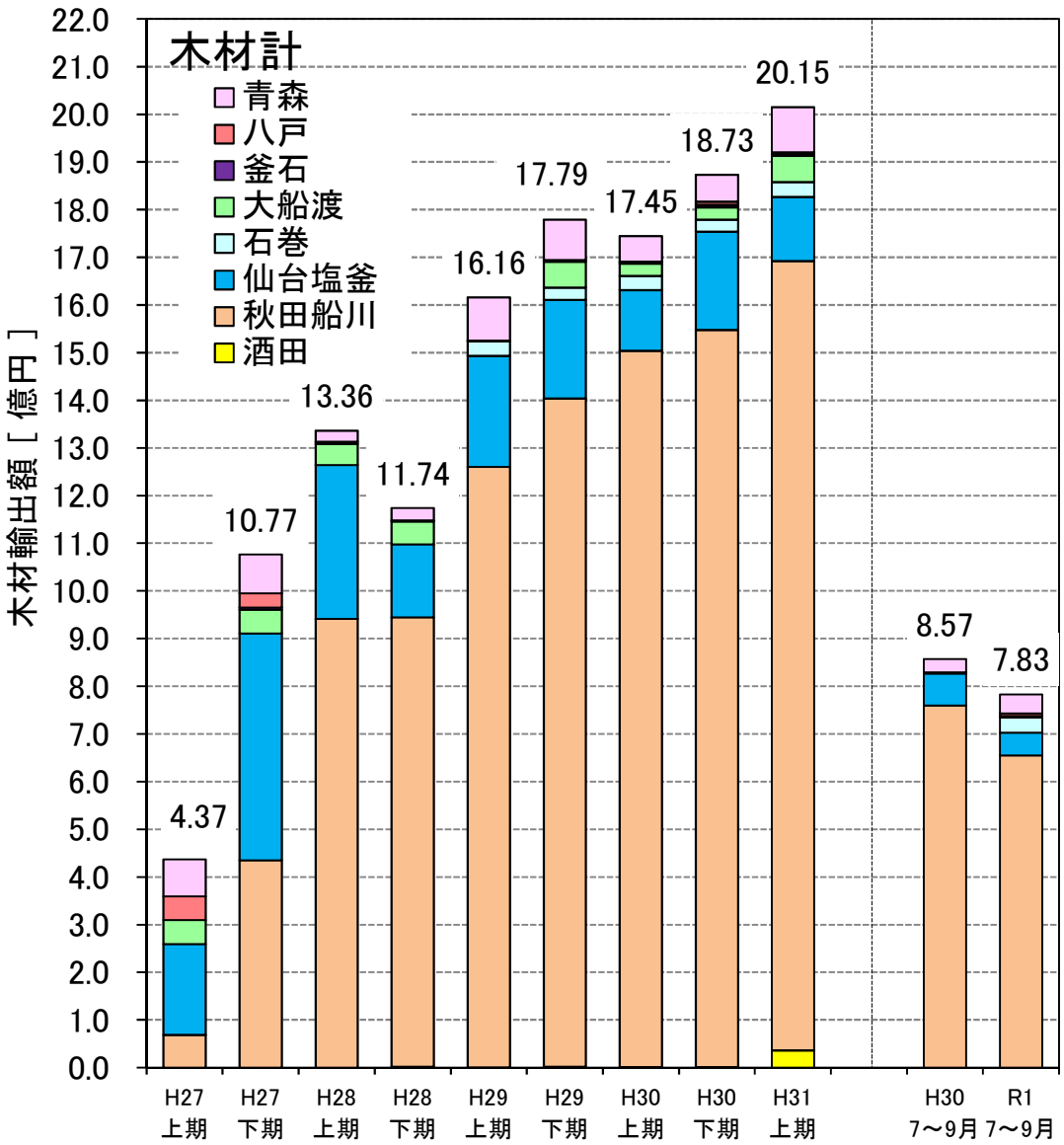


出典：財務省「貿易統計」



# ■ 東北5県における木材輸出額の推移

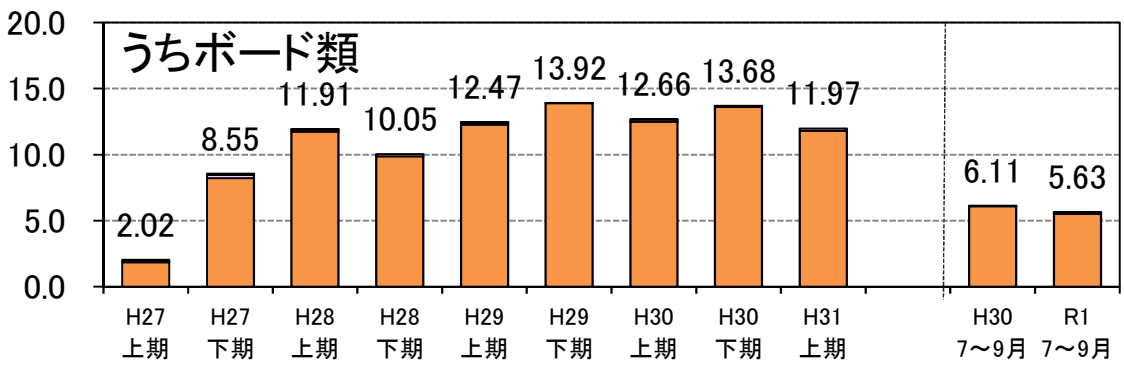
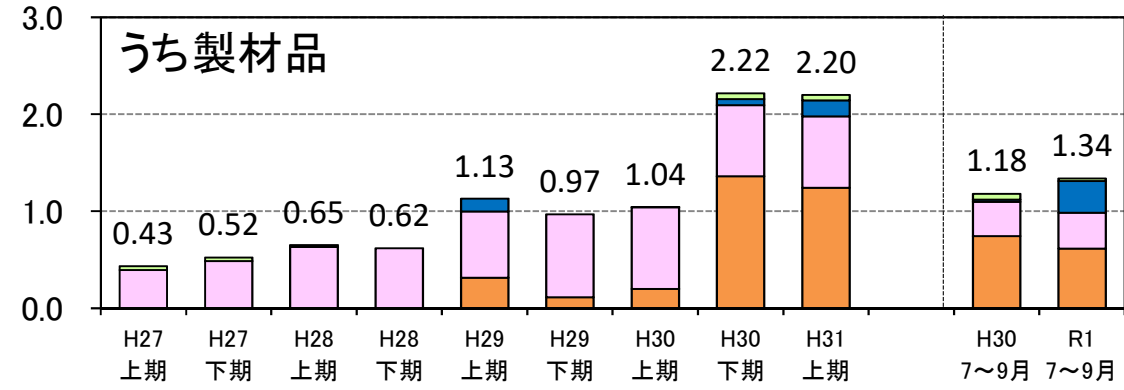
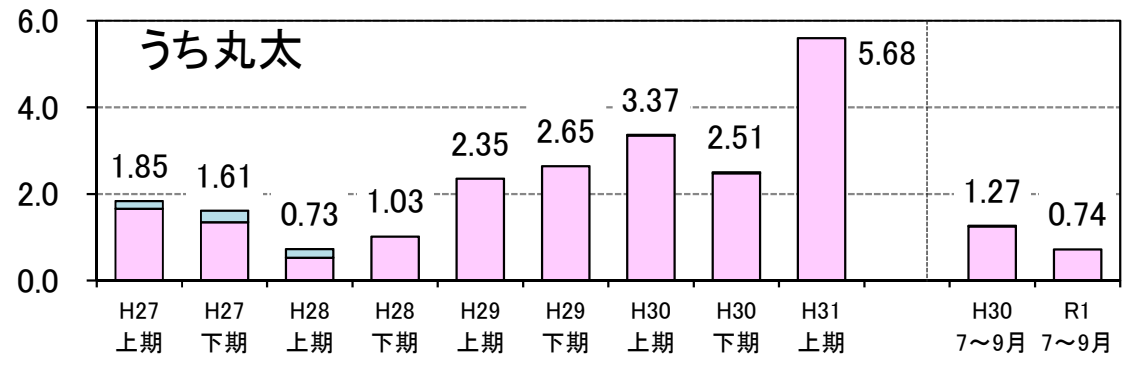
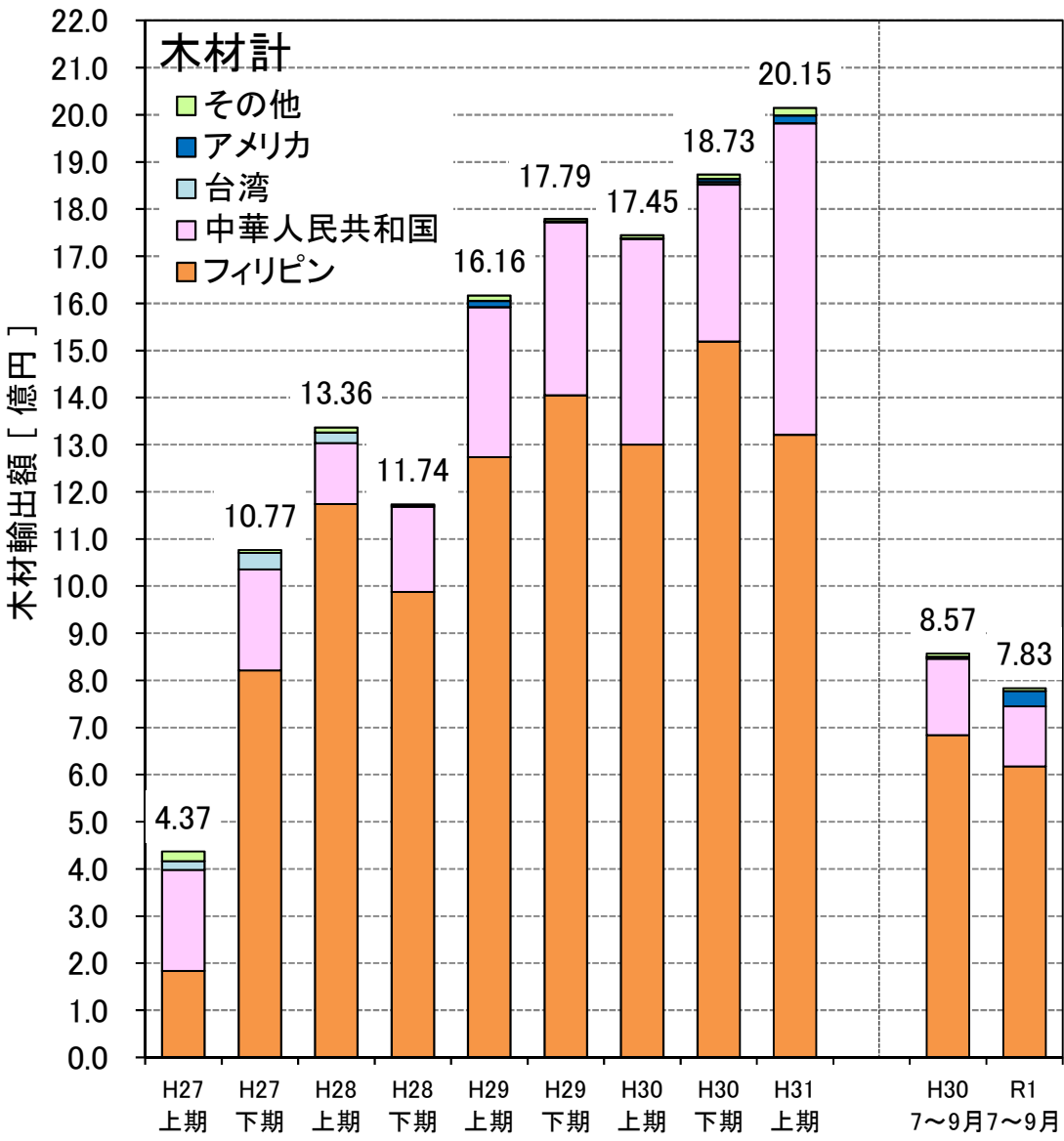
○ R1年7～9月と前年同期を比較すると-9%となっている。  
 ○ R1年7～9月と前年同期を品目別に比較すると丸太-42%、製材+14%、ボード類-8%となっている。



出典：財務省「貿易統計」

# ■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

○ R1年7～9月の主要相手国は、フィリピンが最も高く、次いで中国となっている。  
 ○ 品目別では丸太は中国が最も多く、製材品、ボード類はフィリピンが最も高い。

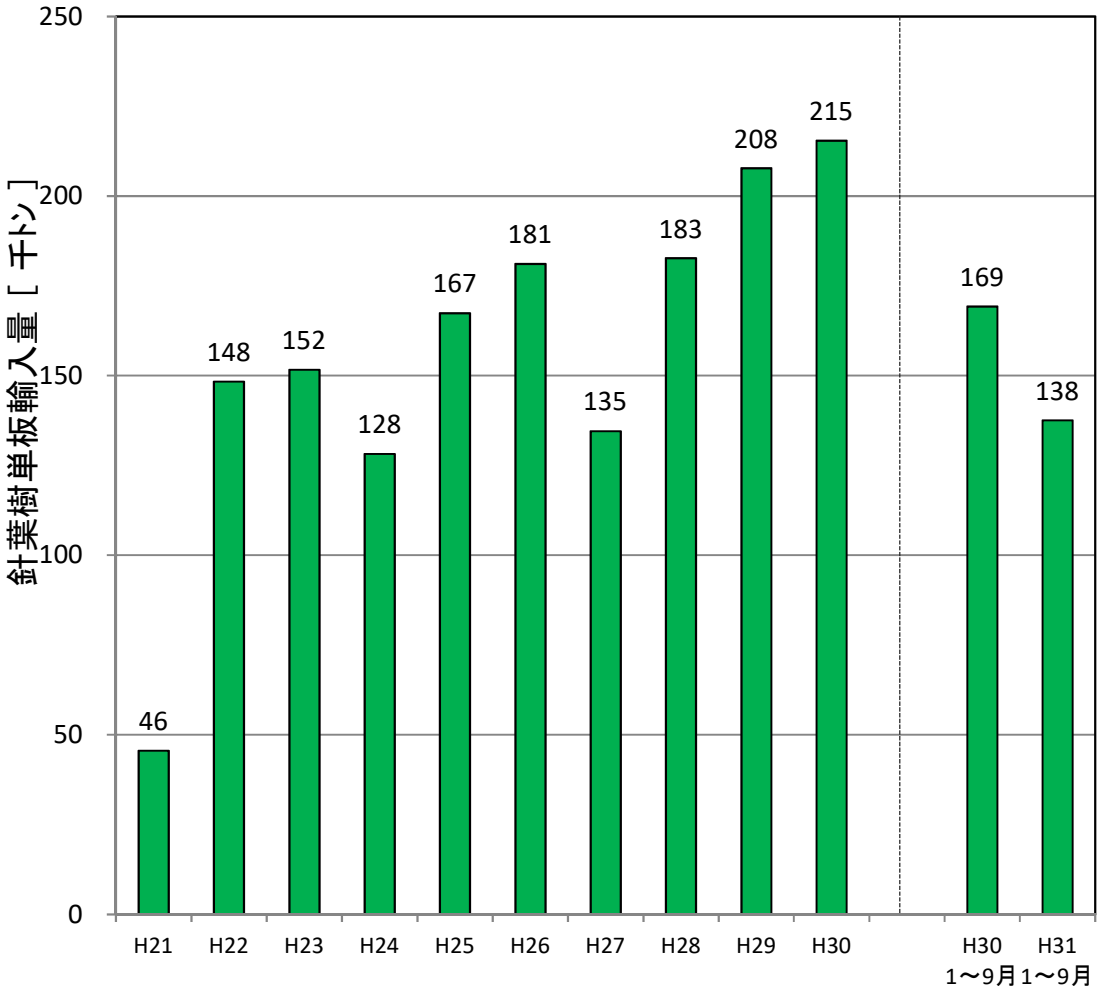


出典：財務省「貿易統計」

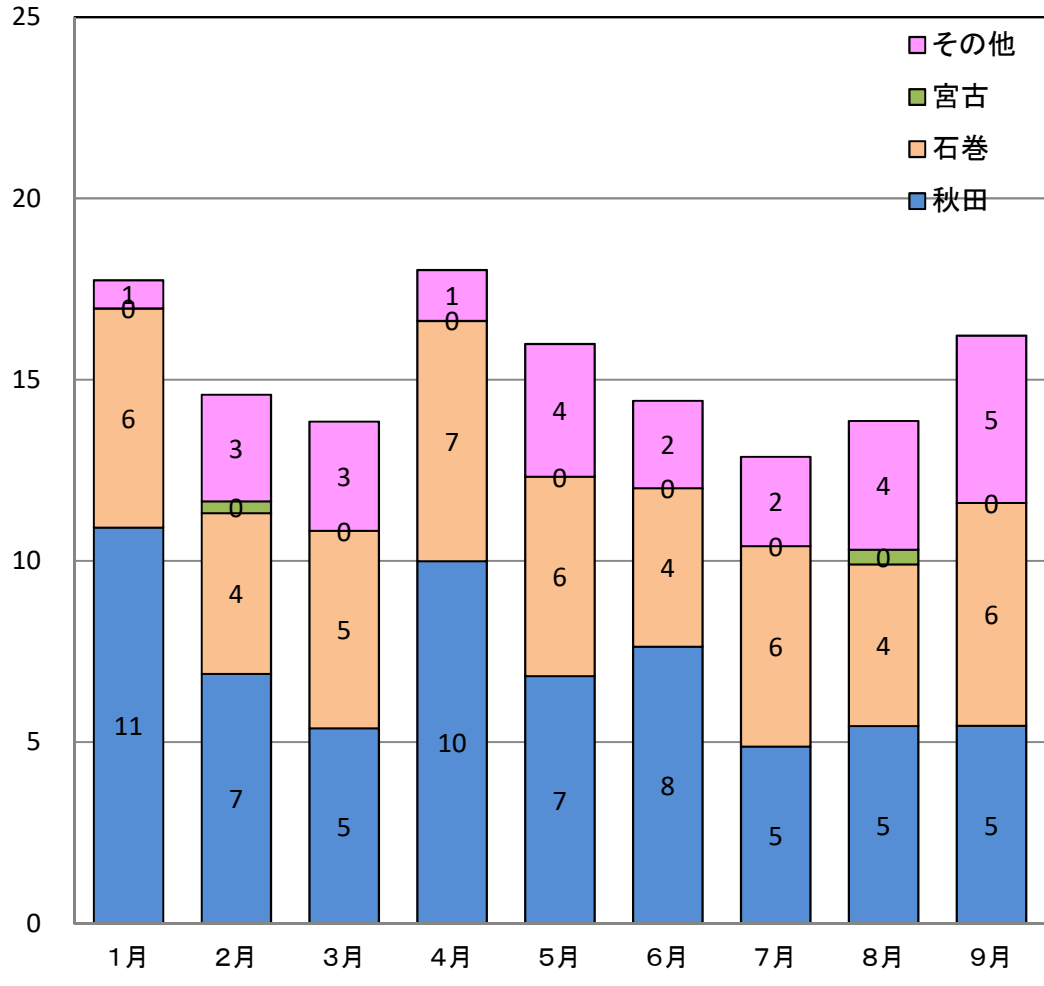
# ロシアからの針葉樹単板輸入量の推移

○ ロシアからの針葉樹単板輸入量は、H31年1～9月を前年同期を比較すると-19%となっている。  
 ○ H31年1～9月の港別輸入量の比率は、秋田46.1%、石巻35.3%、宮古0.5%、その他18.1%となっている。

## 針葉樹単板(ロシア)



## H31年 月別港別輸入量



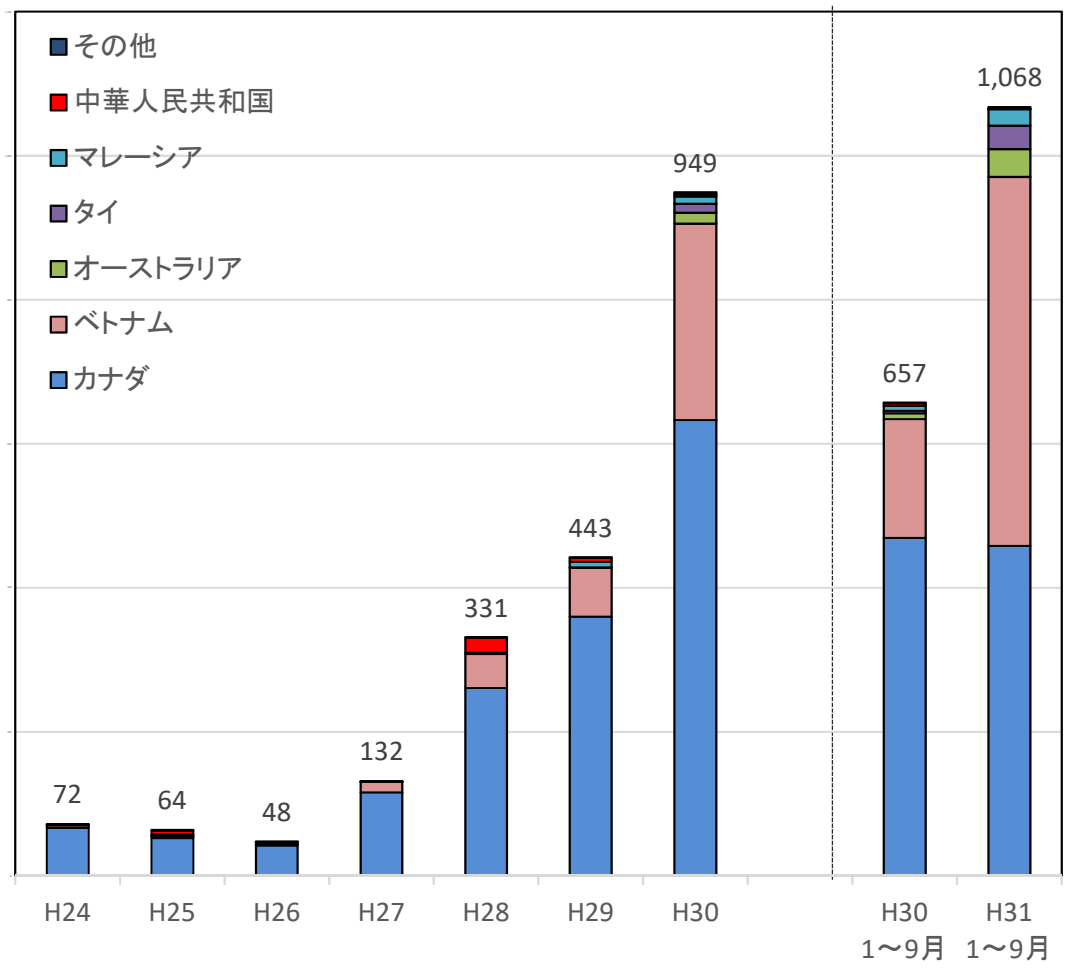
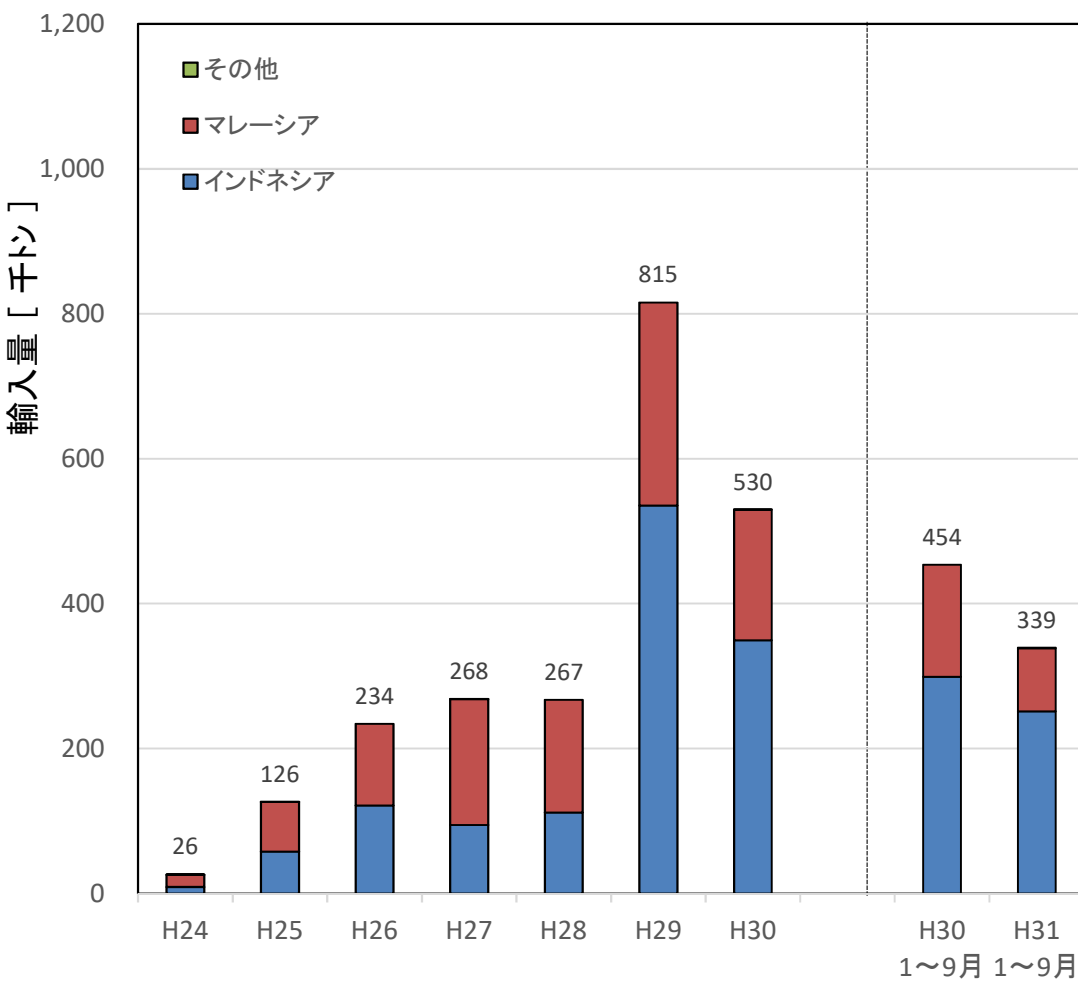
出典：財務省「貿易統計」

# PKS・木質ペレットの輸入量の推移

○ PKS輸入量は、H31年1～9月と昨年同期を比較すると-25%となっている。  
 ○ 主な輸入相手国はインドネシア(74%)、マレーシア(26%)となっている。  
 ○ 木質ペレット輸入量は増加しており、H31年1～9月と昨年同期を比較すると+63%となっている。  
 ○ 主な輸入相手国はベトナム(48%)、カナダ(43%)、オーストラリア(4%)となっている。

PKS

ペレット



出典：財務省「貿易統計」